

ネットワークディスクレコーダー

品番 WJ-NV250シリーズ WJ-NV300シリーズ

●取扱説明書の構成について

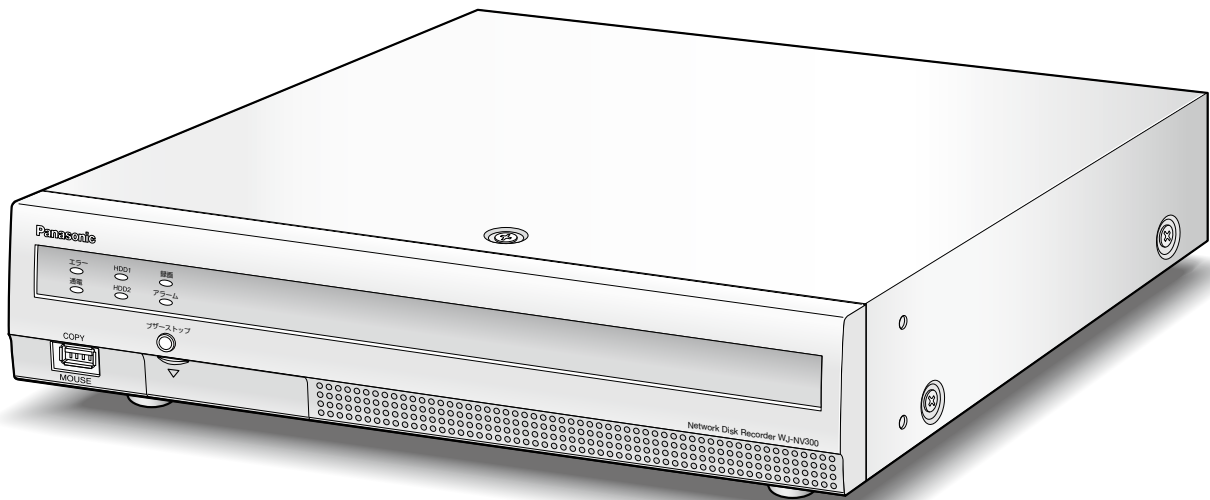
・基本編（本書）：

施工説明や基本的な操作について説明しています。
本機を設置する前に、必ず基本編をお読みいただき、正しく設置してください。

・操作・設定編：

本機の操作や設定のしかたについて説明しています。
PDFファイル形式でCD-ROMに納められています。

●PDFファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® が必要です。 アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。



（イラストはWJ-NV300/8です）

本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、WJ-NV250シリーズ（WJ-NV250/05、WJ-NV250/2、WJ-NV250/4、WJ-NV250V1、WJ-NV250V2）、
WJ-NV300シリーズ（WJ-NV300/4、WJ-NV300/6、WJ-NV300/8、WJ-NV300R）の取扱説明書です。



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（13ページ～15ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

WJ-NV250シリーズ、WJ-NV300シリーズ（以下、本機）は最大32台（NV250シリーズは最大24台）のネットワークカメラ（以下、カメラ）の画像と音声をハードディスク（以下、HDD）に記録することができるネットワークディスクレコーダーです。カメラの接続台数は、カメラ拡張キット（別売り）により、基本の9台から32台まで（NV250シリーズの場合、基本の4台から24台まで）増設することができます。

品番	HDD	初期CH数/最大CH数	RAID5/RAID6	DVDドライブ
WJ-NV250/05	500 GB×1	4CH / 24CH	—	—
WJ-NV250/2	1 TB×2 ^{*1}	4CH / 24CH	—	—
WJ-NV250/4	2 TB×2 ^{*1}	4CH / 24CH	—	—
WJ-NV250V1	1 TB×1	4CH / 24CH	—	1 (DVD-R、+R)
WJ-NV250V2	2 TB×1	4CH / 24CH	—	1 (DVD-R、+R)
WJ-NV300/4	2 TB×2 ^{*1}	9CH / 32CH	あり ^{*2}	—
WJ-NV300/6	3 TB×2 ^{*1}	9CH / 32CH	あり ^{*2}	—
WJ-NV300/8	4 TB×2 ^{*1}	9CH / 32CH	あり ^{*2}	—
WJ-NV300R	—	9CH / 32CH	あり ^{*2}	—

※1 本体の2台のHDDでミラーリングモードが使用できます。

※2 増設ユニット（WJ-HDE400）接続時はRAID5モードまたはRAID6モードが使用できます（本体のHDDは無効になります）。増設ユニットのHDDはミラーリングモードには使用できません。

本機はHDMI（High-Definition Multimedia Interface）に対応しているモニターを接続することができ、録画画像やカメラのライブ画像をより高品質で表示することができます。

また、複数のカメラの画像をモニターに表示する、カメラ画像を切り換えるなど、本機からカメラを操作することもできます。

本書中に記載している別売り品などの情報は、2014年8月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特長

高精細画像監視

Full HD画像（1920×1080）を最大32台（NV250シリーズは最大24台）まで動画記録することができます。また、QXGA画像（2048×1536）や60枚／秒の画像を録画することもできます。2つのHDMIモニター出力に対応し、録画画像やカメラのライブ画像を用途に応じて高精細に表示することができます。

簡単操作・簡単設定

本機にマウス（付属品）を接続し、モニター画面を見ながら簡単に操作できます。

簡単設定を実現した「らくらくスタート」により、パソコン（以下、PC）を使わずにカメラを自動認識し、ガイドラインに沿って設定することができます。

また、カレンダーやタイムラインを使って録画画像を簡単に検索することもできます。

リアルタイム顔照合機能を搭載（オプション、別売り）

事前に登録した人物の顔画像と、ライブ画像内の顔画像をリアルタイムに照合し、結果を通知することで、来店者の確認や不審者を発見することができ、犯罪の未然防止を支援します。

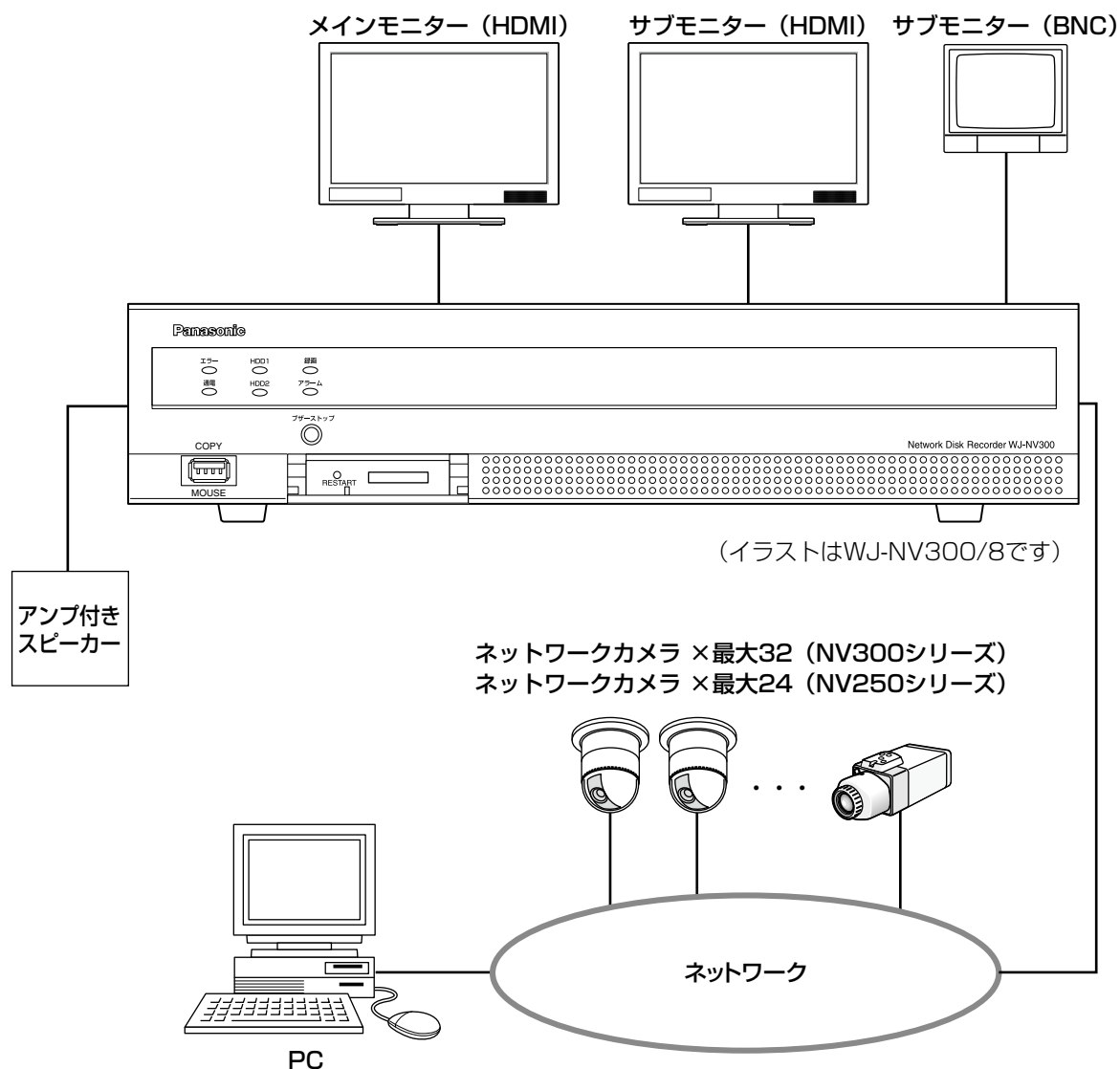
HDD増設ユニット（NV300シリーズのみ）

増設ユニット（WJ-HDE400）を2台接続することで、シングルモードでは最大20台、RAID5モードまたはRAID6モードでは最大18台のHDDを使用した運用が可能です。

SDHC/SDメモリーカードスロットとコピー端子搭載

録画されたカメラ画像をSDHC / SDメモリーカード（別売り）および市販の外付けHDDやUSBメモリーにコピーできます。コピーされた画像は、専用のビューワーソフトで再生、印刷、保存することができます。（推奨SDHC / SDメモリーカードは49ページ）

システム構成



付属品をご確認ください

CD-ROM*	1枚	保証書	1式
マウス	1個	起動情報案内カード	1枚
取扱説明書 基本編 (本書)	1冊	電源コード	1本
簡単操作ガイド	1冊		

※CD-ROMには各種取扱説明書 (PDFファイル) が納められています。

取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 基本編 (本書)、取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル)、簡単操作ガイドほかで構成されています。

- 取扱説明書 基本編 (本書) : 必要な機器との接続や設置のしかた、設定方法について説明しています。
- 取扱説明書 操作・設定編 (PDF ファイル) : 本機を使用するにあたっての操作方法について説明しています。本機から直接操作する方法と、ネットワークを経由してPCから操作する方法の2通りの方法を説明しています。
- 簡単操作ガイド : よく使う機能の操作方法について説明しています。
- 取扱説明書 ビジネスインテリジェンス拡張キット (PDFファイル) : WJ-NVF20JW、WJ-NVF30JW (別売り) のライセンス登録、設定・操作方法について説明しています。

PDF ファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader® 日本語版が必要です。PC に Adobe® Reader® 日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新の Adobe® Reader® 日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

本書および画面中のNV250、NV300とは本機を表しています。また、本書に掲載している画面はカメラ接続台数が16台の場合です。

発生したイベントやエラー情報を受信し表示する専用ソフトウェア (別売り) およびカメラの対応機種、バージョンについては本機付属のCD-ROM 内「readme.txt」をお読みください。

また、カメラの対応機種などの最新情報や、本機のソフトウェアバージョンアップによる機能追加、変更の情報などについてはパナソニックサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/security/support/index.html>) を参照してください。

必要なPCの環境

PCで本機を操作するには以下の環境を持つPCを推奨します。

対応OS	: Microsoft® Windows Vista® 日本語版、Microsoft® Windows® 7 日本語版*1、 Microsoft® Windows® 8.1 日本語版
ウェブブラウザ	: Windows® Internet Explorer® 11 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 10 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 9 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 8 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 7 32ビット日本語版
CPU	: Intel® Core™ i7-860以上
メモリー	: 4 GB以上
画面	: 1024×768 ピクセル以上の解像度、True color 24 ビット以上
ネットワーク機能	: 10BASE-T、100BASE-TX、または1000BASE-T 1ポート
サウンド機能	: サウンドカード（音声機能を使用する場合）
その他	: CD-ROM ドライブ（各種取扱説明書（PDFファイル）を閲覧するため） : DirectX® 9.0c 以上 : Adobe® Reader®（各種取扱説明書（PDFファイル）を閲覧するため）

*1 Windows® XP互換モードでは使用できません。

重要

- 必要なPC 環境を満たしていない場合には、画面の表示が遅くなる、ウェブブラウザが操作できなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。
- Microsoft® Windows® 7 Starterには対応していません。

メモ

- Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows Vista®またはWindows® Internet Explorer®を使用する場合に必要なPCの環境や注意事項など詳しくは、「Windows® / Internet Explorer®のバージョンによる注意事項」（PDFファイル）をお読みください。
- 対応OSとブラウザの最新の動作検証情報については、パナソニックサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/security/support/index.html>) を参照してください。

商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveX およびDirectX は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel、Intel Core は米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 8.1 日本語版をWindows 8と表記しています。

Microsoft® Windows® 7 日本語版をWindows 7と表記しています。

Microsoft® Windows Vista® 日本語版をWindows Vistaと表記しています。

Windows® Internet Explorer® 11 日本語版、Windows® Internet Explorer® 10 日本語版、Windows®

Internet Explorer® 9 日本語版、Windows® Internet Explorer® 8 日本語版、Windows® Internet Explorer® 7 日本語版をInternet Explorerと表記しています。

SDHCメモリーカード／SDメモリーカードをSDメモリーカードまたはSDカードと表記しています。

ネットワークカメラをカメラと表記しています。

GPL / LGPLについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- 当該ソフトウェアのソースコードおよびGPL / LGPLソフトウェアに含まれるcopyright noticeに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権について

GPL / LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

- この商品は、カメラで監視している画像の録画、再生を目的に作られています。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示・記録などできないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
 - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥お客様による監視画像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
 - ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

ネットワークに関するお願い

本商品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本商品を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本商品の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本商品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本商品を使用する。
- コンピューターが接続されているシステムで本商品を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本商品にアクセスしたあとは、必ずすべてのウェブブラウザを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）アラームメール、FTPサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、それらの情報を格納しているサーバーや各種接続機器に対してユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

カメラの増設について（オプション）

本機にカメラ拡張キット（別売り）のライセンスを登録することで、カメラ接続台数を増設することができます。増設されるカメラ台数は、下の表のように登録するライセンスの種類と数によって段階的に変わります。

NV250シリーズ（基本：4ch）

カメラ拡張キット WJ-NVE20JW	ライセンス追加なし	×1 追加時	×2 追加時	×3 追加時	×4 追加時
	4ch	9ch	12ch	16ch	24ch
カメラ拡張キット WJ-NVE21JW	ライセンス追加なし	×1 追加時			
	4ch	24ch			

NV300シリーズ（基本：9ch）

カメラ拡張キット WJ-NVE30JW	ライセンス追加なし	×1 追加時	×2 追加時	×3 追加時
	9ch	16ch	24ch	32ch

顔照合機能について (オプション)

本機にビジネスインテリジェンス拡張キット (別売り) のライセンスを登録することで、事前に登録した顔画像とライブ画像内の顔画像を比較し、似ている人物を検出する顔照合機能が使用できます。似ている人物が検出されたときに、アラームで通知することができます。

顔照合機能をご使用いただく際には、以下の制約があります。

- カメラ1のみ使用可能です。
- 顔検出機能を搭載したカメラが必要です。
対応カメラについては、本機付属CD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。
同時に検出できる顔の数はカメラの検出性能によります。
- 顔照合アラームの動作モード (取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル)) を「アラーム動作」に設定すると、カメラ1の録画詳細設定は、自動的に下記の設定になります。

圧縮方式 : H.264
解像度 : SXVGA (1280×960)
フレームレート : 5 ips
画質 : SF

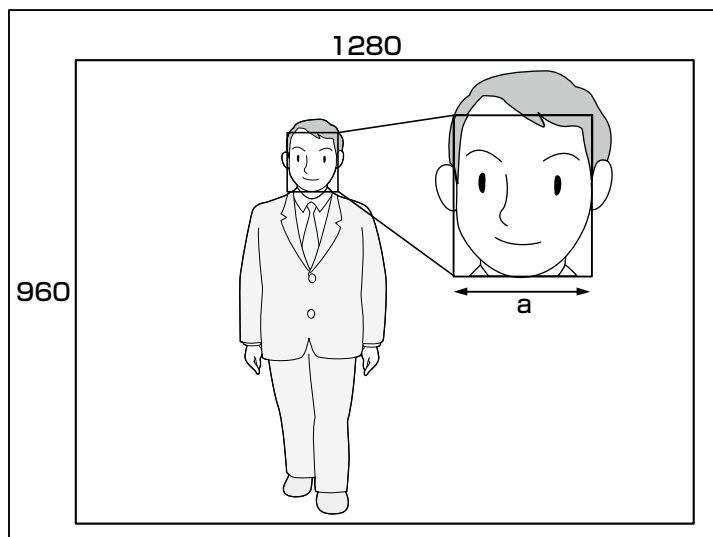
上記の設定を変更した場合、顔照合機能は使用できませんのでご注意ください。

- 顔画像の登録は、上記の設定条件で録画した画像を本機で再生した場合しか行えません。
- 録画していない時間帯にカメラに写った人物は登録できませんので、24時間録画の設定にすることをお勧めします。
- 設定画面表示中は、顔照合機能を使用できません。
- 顔照合の性能は、カメラの検出性能およびレコーダーの照合性能に依存します。画像内に同時に多くの人物が登場する場合などに、照合に時間がかかる、一部の顔を照合できないなどの現象がおこることがあります。
- 顔照合アラームでは、イベント録画は行いません。

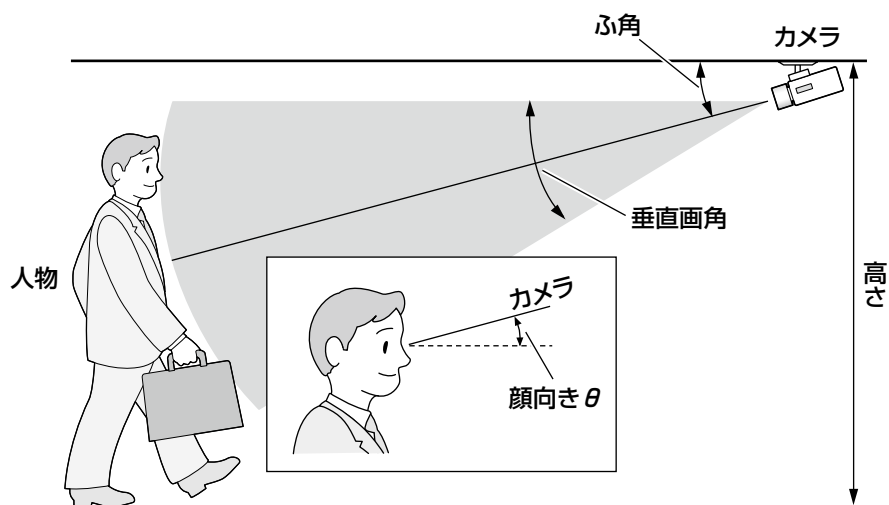
カメラの設置・設定について

顔照合の精度が維持されるよう、カメラの設置や設定について、以下の点に留意してください。

- 顔画像の顔幅 (図のa) が125ピクセル以上となるようにカメラを設置してください。
例) 解像度 (1280×960) の場合、顔幅は、画面全体の横幅の1/10以上



- カメラに対する顔向き（図の θ ）が 15° 以下になるように、カメラの高さ、ふ角、垂直画角を調整してください。



カメラの設定例（身長170 cmの人物の場合）

高さ	ふ角	垂直画角（ズーム率）	カメラと人物との距離
2.3 m	10°	12° （6倍）	3.3 m～8.5 m
2.3 m	15°	18° （4倍）	3.0 m～5.5 m

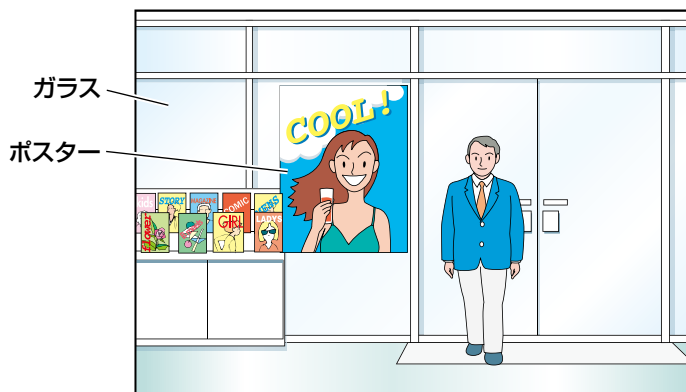
- 顔照合機能を使用する設定にすると、カメラの設定は自動的に下記の設定になります。詳細は接続するカメラの取扱説明書をお読みください。

動画配信形式	H.264
解像度	1280×960
フレームレート	5 ips
1クライアントあたりのビットレート	4096 kbps（目安）
リフレッシュ間隔	1 s
スーパーダイナミック	Off
暗部補正	Off
逆光補正（BLC）	Off
シャッタースピード（光量制御モード）	1/250固定
ゲイン	On（High）
白黒切換	Off
デジタル・ノイズ・リダクション	Low
顔検出	On

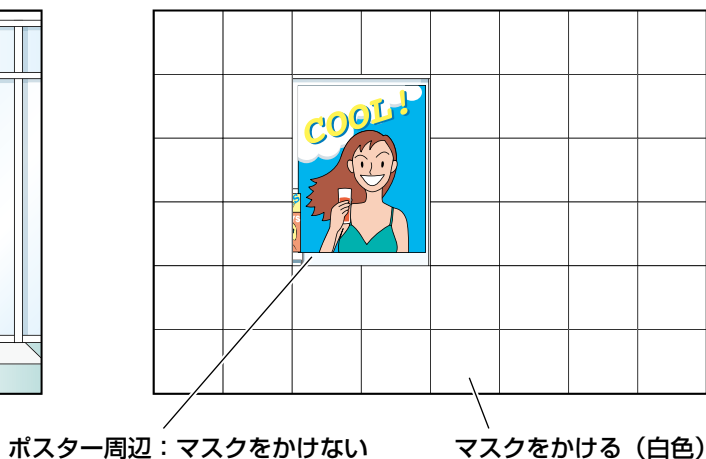
はじめに (つづき)

- カメラの逆光補正のマスクエリア設定で、昼夜で輝度の変化の大きいエリアにマスクをかけることにより、顔がより認識しやすい画像を撮影することができます。
室外からの強い光源の影響を受けやすい場所などでは、下図のように設定することで、影響を少なくすることができます。

〈入り口付近の画像例〉



〈左の画像のマスクエリア設定画面例〉



顔照合に適さない場合

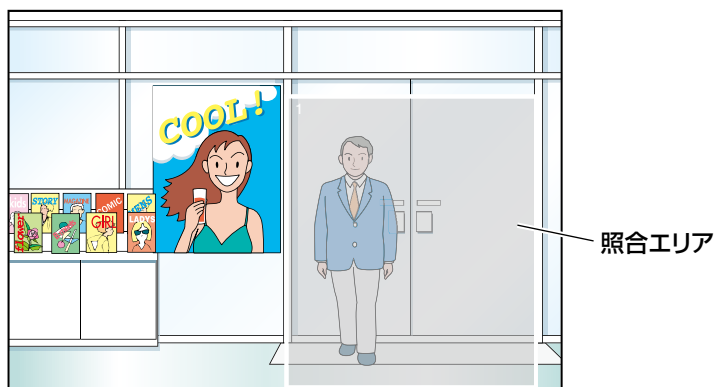
照合の精度は、カメラの設置・設定、調整、周囲環境、被写体により変動します。そのため、以下のような場合は、顔照合されないことがあります。

- 屋外など、照明が均一に当たらない場所の場合
- 顔が隠れている場合（マスク、サングラス、ヘルメットなど）
- 顔が正面を向いていない場合
- 被写体の動きが速い場合
- 屋外からの外光の影響が大きい場合（車のヘッドライトや西日、朝日など）

照合精度を上げるには

- 顔照合の対象顔画像は、同一の設置環境のカメラで録画した画像から登録してください。
- 昼夜どちらでも、顔がむらなくかつ明るく写るようにカメラを設定してください。
- 予想される被写体の動作経路に合うようなカメラの向きに設置してください。
- ポスターなどに掲載されている顔が対象とならないよう照合エリア設定（[取扱説明書 操作・設定編](#)（PDFファイル））をしてください。

〈照合エリア設定例〉



もくじ

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
特長	2
システム構成	3
付属品をご確認ください	4
取扱説明書について	4
必要なPCの環境	5
商標および登録商標について	5
略称について	6
GPL / LGPLについて	6
著作権について	6
免責について	6
ネットワークに関するお願い	7
個人情報の保護について	7
カメラの増設について (オプション)	7
顔照合機能について (オプション)	8
安全上のご注意	13
取り扱い上のお願い	16
使用上のお願い	16
設置上のお願い	18
各部の名前とはたらき	20
前面パネル	20
後面パネル	22
本機のユーザー管理について	24

設置

運用までの流れ	25
ラックへの取り付け	26
接続する	27
カメラを接続する	27
モニターを接続する	28
PCを接続する	29
増設ユニットを接続する (NV300シリーズのみ)	31
端子について	32
アラーム／コントロール端子の使いかた	32
アラーム／コントロール端子の時間と極性	34

起動 セットアップ

起動する	35
電源を入れる	35
電源を切る	36
ライセンス (解除キー番号) を登録する	37
基本的な操作のしかた	39

らくらく設定

設定画面について.....	41
必要最小限の設定を行う [らくらくスタート]	42

その他

故障かな!?	46
仕様.....	48
保証とアフターサービス.....	50

取扱説明書 操作・設定編

以下の項目については、添付CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル) をお読みください。

本体設定

基本設定

- 日時や言語に関する設定
- カメラに関する設定
- 録画やイベントに関する設定

詳細設定

- モニターの設定 [モニター]
- ネットワーク接続に関する設定 [ネットワーク]
- ユーザー管理に関する設定 [ユーザー管理]
- メンテナンスに関する設定 [メンテナンス]
- HDDを管理する [HDD管理]
- 拡張機能に関する設定 [拡張機能]

設定項目一覧

本体操作

見る

- カメラ操作
- イベント機能

録画する

再生する

便利な機能

- コピーする
- コピーデータを本体で再生する

ネットワーク操作

見る

- カメラ操作
- イベント機能

再生する



便利な機能

- コピーする
 - ダウンロードする
 - コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する
- ### 設定する




安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店に依頼してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

- 放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない



水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

安全上のご注意（つづき）

はじめに

警告

不安定な場所に置かない



禁止

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

雷が鳴りだしたら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない（工事時を含む）



接触禁止

感電の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

- コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

アースを確実に取り付ける



本機の電源プラグはアース端子付き2しんプラグです。アースは確実に行って使用してください。

アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

- 販売店に相談してください。（アース工事費は本製品の価格には含まれていません）

電源を入れたまま工事、配線をしない



禁止

火災や感電の原因となります。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

振動や強い衝撃を与えない



禁止

火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、
火災の原因となり
ます。

リチウム電池は同一型名 または同等品と交換する



異なる型の電池を使用
すると、発熱、破裂、
発火の原因となりま
す。

- 交換は必ず販売店に依頼して
ください。

SDHC / SDメモリー カード（別売り）は、乳 幼児の手の届く所に置か ない



禁止

誤って飲み込むおそ
れがあります。

- 万一、飲み込んだと思われると
きは、すぐに医師にご相談く
ださい。

ひび割れや変形補修した ディスクは使用しない



禁止

内部で飛び散って故
障やけがの原因とな
ります。

DVDドライブの内部を のぞきこまない



禁止

内部のレーザー光源
を直視すると、視力
障害を起こすおそれ
があります。

- 点検、調整、修理は、販売店に
依頼してください。

DVDドライブのトレイに 指を入れない



指はさみ
注意

挟まれて、けがの原
因となることがあり
ます。

取り扱い上のお願ひ

⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

使用上のお願ひ

使用電源

AC100 V 50 Hz/60 Hzです。消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴や水しぶきのかからない場所で使用してください。

※付属の電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

使用温度範囲

本機の使用温度範囲は+5℃～+45℃です。この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。

※HDDは温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。+25℃程度でのご使用をお勧めします。

電源について

本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときは電源コードを抜いてください。設置条件により容易に電源コードを外せないときは、本機の電源コードを遮断能力のある分電盤のサーキットブレーカーを経由したACコンセントまたは電源制御ユニットなどのコンセントに接続してください。

内蔵バックアップ電池

- 内蔵バックアップ電池は、日光、火などの過度の熱にさらされることのないようにしてください。
- 初めて使用するときは、48時間以上の連続通電をして、内蔵のバックアップ電池（リチウム電池）を充電してください。電池の充電が不十分な場合、停電などのときに内部時計の時刻がずれたり、各種履歴が消失したりするなど、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。
- 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（使用条件によって短くなります）。5年を目安に交換してください（ただし、この期間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。寿命を過ぎると、電源を切った際に時刻設定の内容などが保存されません。
- 内蔵バックアップ電池を交換する際は、お買い上げの販売店に相談してください。

HDDについて

- HDDは精密機器です。衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをしてください。振動・衝撃はHDD故障の原因になります。
- HDDに記録された情報内容は、万一、消失しても故障や障害の原因にかかわらず、弊社は補償いたしかねます。
- 電源を入れたときや電源を切った直後（約30秒間）は、HDDが動作中です。移動や設置作業は絶対に行わないでください。
- HDDの寿命は使用環境により異なりますが、消耗劣化する部品です。通電時間が20000時間を超えると、書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30000時間を超えると、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命となります。（+25℃で使用時）
- 大切なデータが壊れないように、機器の周辺温度を+25℃程度に保ち、18000時間を目安に交換することをお勧めします（ただし、この時間は目安であり、寿命を保証するものではありません）。
- HDDに異常が発生した場合は、すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。また、HDDの購入、交換は販売店にご相談ください。

SDHC / SDメモリーカードについて

- 未フォーマットのSDHC / SDメモリーカードを使用する場合は、本機でSDHC / SDメモリーカードをフォーマットしてから使用してください。フォーマットすると、記録されていた内容は消去されます。未フォーマットのSDHC / SDメモリーカードや本機以外でフォーマットしたSDHC / SDメモリーカードを使用すると、正常に動作しないことや、性能低下することがあります。フォーマットのしかたは、取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル）をお読みください。
- 一部のSDHC / SDメモリーカードは本機で使用すると、正常に動作しないことや、性能が低下することがあります。推奨SDHC / SDメモリーカード（[P.49](#)ページ）の使用をお勧めします。SDHC / SD以外の規格のメモリーカードは使用できません。
- SDHC / SDメモリーカードの挿入、取り出しの方法は21ページをお読みください。

外部記憶装置（外付けHDDとUSBメモリー）について

- コピーポートで利用できる外部記憶装置は、USB2.0に対応した外付けHDDとUSBメモリーです。
- 外部記憶装置は本機ではフォーマットできません。FAT（FAT16）またはFAT32形式でフォーマットされた外部記憶装置を使用してください。フォーマット方法については、外部記憶装置の取扱説明書をお読みください。
- パスワード認証付きの外部記憶装置は使用できません。

結露について

結露が発生すると故障の原因となりますのでご注意ください。

以下のような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

使用するモニターについて

モニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

長時間使用しない場合

機能に支障をきたす場合がありますので、1週間に1回程度、電源を入れて録画・再生し、画像を確認してください。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

機器を譲渡・廃棄される場合

本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報は、「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器上面をご覧ください。

AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

(i) 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。

(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

本機の再起動について

下記の場合、本機は録画を継続するために、自動的に再起動を行います。

- 本機のソフトウェアが装置内部の異常を検出し、再起動が必要と判断した場合

DVDについて(DVDドライブ搭載モデルのみ)

- 市販のDVDやレンタルDVDは使用できません。また、本機で記録したデータは市販のDVDプレーヤーでは再生できません。
- トレイを出したまま放置しないでください。
- トレイに指定のディスク以外のものを装着しないでください。
- 無理にトレイを開けないでください。
- 磁石など磁気を持つものを近づけないでください。磁気の影響で、動作が不安定になることがあります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い上のお願い（つづき）

DVDのお手入れと取り扱いについて (DVDドライブ搭載モデルのみ)

- 長時間使用すると、ディスクにほこりなどが付着して、正常に読み書きできなくなるおそれがあります。使用環境や使用回数によって異なりますが、専用のクリーニングキット（別売り）を用いて、お手入れすることをお勧めします。
ブルーレイ/DVDディスククリーナー：RP-CL750
レンズはレンズ用ブローアなどでほこりを除去してください。
- ディスクの記録面が指紋やほこりで汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください（ディスクは内周から外周方向にふいてください）。汚れがひどい場合は、柔らかい布に水をしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で水気をふき取ってください。
- アルコールやシンナーなどはディスクの表面を侵すことがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

- トレイ部の汚れがひどいときは、ディスクのクリーニングとあわせてトレイ部のクリーニングも行ってください。トレイ部の汚れは、電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ディスクの記録面（印刷されていない面）に触れないように持って、出し入れしてください。
- 紙やシール、ラベルを貼ったり、文字を鉛筆やボールペンなどで書いたりしないでください。
- 正しい取り扱いをしないとデータの書き込みが正常に行われない、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが破損する、などの障害が発生する場合があります。

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
本機は屋内専用です。

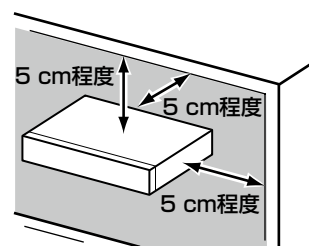
以下の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所
- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- スピーカーや大きい音を発する装置など、音圧による振動を発生するものの近く
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- 傾斜のある場所
- ほこりがたまりやすい場所
- 水滴や水しぶきがかかる場所

横置き（水平）または専用金具を使用した縦置きで設置してください

本機は傾けて設置しないでください。また、本機の周囲に5 cm程度の空間を確保してください。

※縦置き用金具のご購入については、販売店にご相談ください。

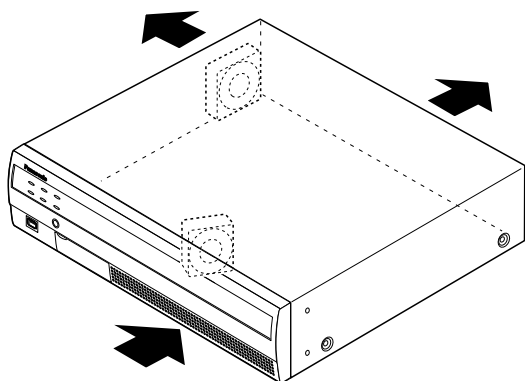


本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください

放熱について

内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30000時間を目安に交換してください。交換は販売店に依頼してください。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度あけてください。また、前面にある通風口から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風口をふさがないでください。



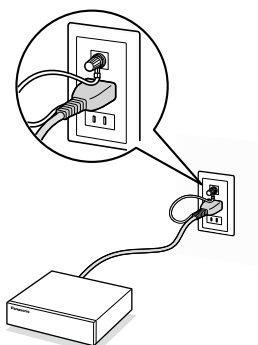
※放熱ファンの数は機種によって異なります。

雑音源は避けてください

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているか確認してください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）をご確認ください。



電源について

アースは、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に接続してください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してください。

電源コードの取り付けかた

電源コードは、必ず遮断装置を経由した次のいずれかの方法で接続してください。

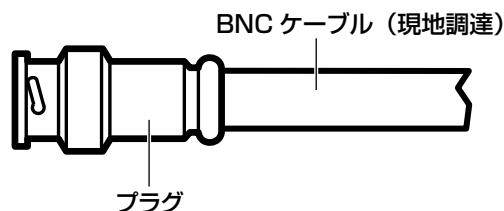
- 電源制御ユニットを経由して接続する
- 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを経由して接続する
- 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること

BNCケーブル接続時

機器の設置時、本機後面のBNC端子にBNCケーブル（現地調達）を使って接続する場合、指定の規格合格品を使用してください。

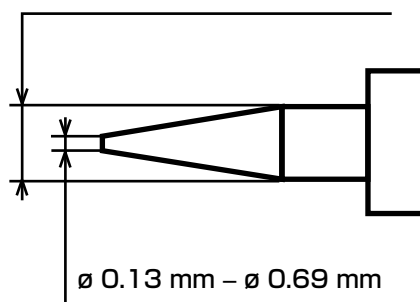
適合プラグ JIS : C5412

※規格番号末尾は改定されている場合があります。



推奨適合プラグのピン形状

∅ 1.32 mm - ∅ 1.37 mm

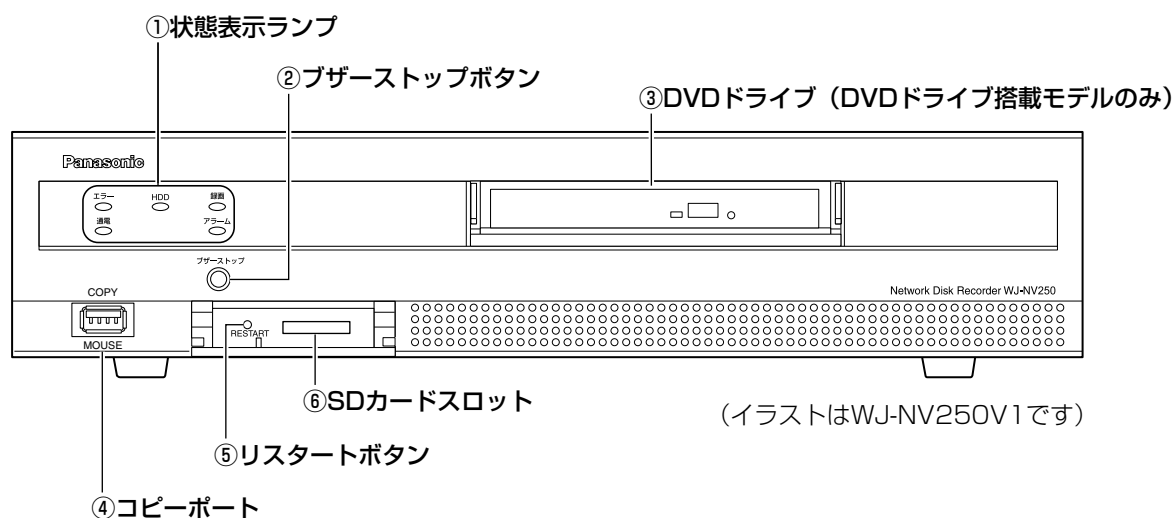


重要

- 指定外のプラグを使用した場合、接触不良などの不具合が発生する可能性がありますので、適合プラグを使用してください。本体側のコネクタを破損するおそれがあります。

各部の名前とはたらき

前面パネル



(イラストはWJ-NV250V1です)

※コピーポートはコネクタを差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

①状態表示ランプ

エラー：本機に異常が発生したときなど、本機の運用に支障があるときに点滅します。

点滅（赤色）：システム異常

点滅（橙色）：温度異常、放熱ファン停止など

通電：電源が入っているときに点灯します。

HDD [HDD] または [HDD1] / [HDD2]

：HDDのアクセス状態と故障状態を表示します。

点滅（緑色）：HDDにアクセス中

点灯（赤色）：HDDに故障（エラー）が発生

消灯：HDDにアクセスなし

※WJ-NV300Rには、HDDランプはありません。

録画：録画中点灯（橙色）します。

アラーム

：アラームが発生すると点滅し、自動復帰すると点灯します。[アラーム復帰] ボタン（取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル）をクリックすると、消灯します。

②ブザーストップボタン

アラーム発生時やエラー発生時に鳴動したブザーを停止するときに使用します。アラーム、エラーについては、取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル）をお読みください。

③DVDドライブ

DVDに録画画像を保存することができます。（※21ページ）

④コピーポート [COPY]

外部記憶装置（外付けHDD、USBメモリー）を接続し、HDDに記録された録画画像および音声をコピーします。

※マウスを接続して使用することも可能です。

⑤リスタートボタン [RESTART]

本機を再起動します。クリップなど先の細いものを差し込んで押ししてください。

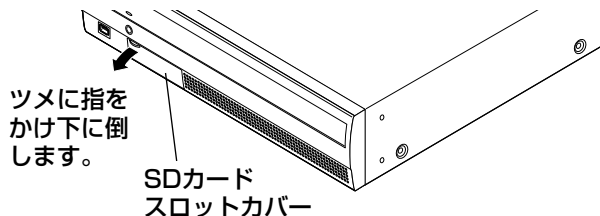
⑥SDカードスロット

SDカード（別売り）に録画画像および音声をコピーします（※21ページ）。

SDカード（別売り）を挿入する

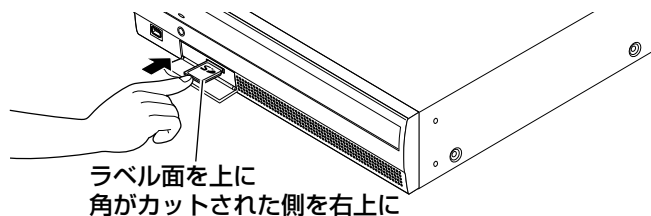
STEP1

SDカードスロットカバーを開けます。



STEP2

SDカードを奥までまっすぐ押し込みます。「カチッ」と音がすることを確認します。

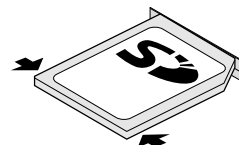


STEP3

SDカードスロットカバーを閉じます。

メモ

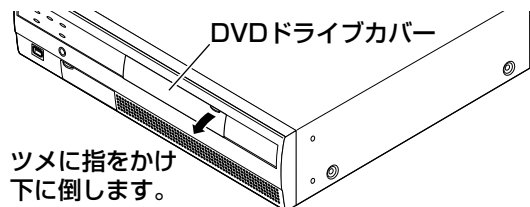
- SDカードを取り出す場合、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し込み、両角をはさむように持ってまっすぐ引き出します。
- SDカードスロットカバーは力が加わると外れる構造になっています。外れた場合は、元どおりに取り付けてください。



DVD（別売り）を入れる（DVDドライブ搭載モデルのみ）

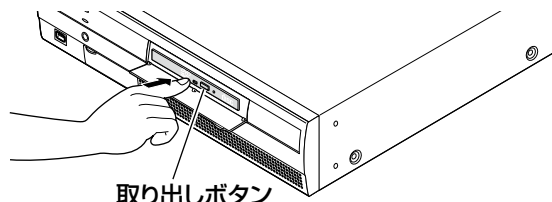
STEP1

DVDドライブカバーを開けます。



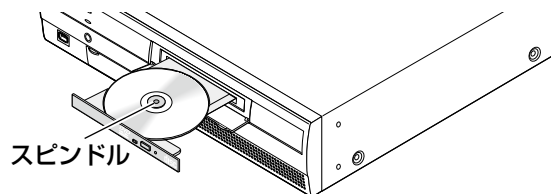
STEP2

本機の電源が入っている状態で、DVDドライブ中央の取り出しボタンを押し、ゆっくりとトレイを引き出します。



STEP3

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク中央の穴をトレイ中心のスピンドルに合わせ、軽く押し込みます。「カチッ」と音がして、ディスクがトレイにはまることを確認します。



STEP4

トレイを奥まで押し込みます。「カチッ」と音がして、トレイが固定されることを確認します。

STEP5

DVDドライブカバーを閉めます。

重要

- ディスクトレイを開閉する場合は、トレイの上から力をかけないでください。
- DVDドライブを使用しないときは、ディスクトレイは閉じておいてください。
- ディスクをトレイから取り出す場合は、スピンドルを押さえてディスクを外してください。無理にディスクをトレイから外そうとするとディスクやDVDドライブが壊れるおそれがあります。

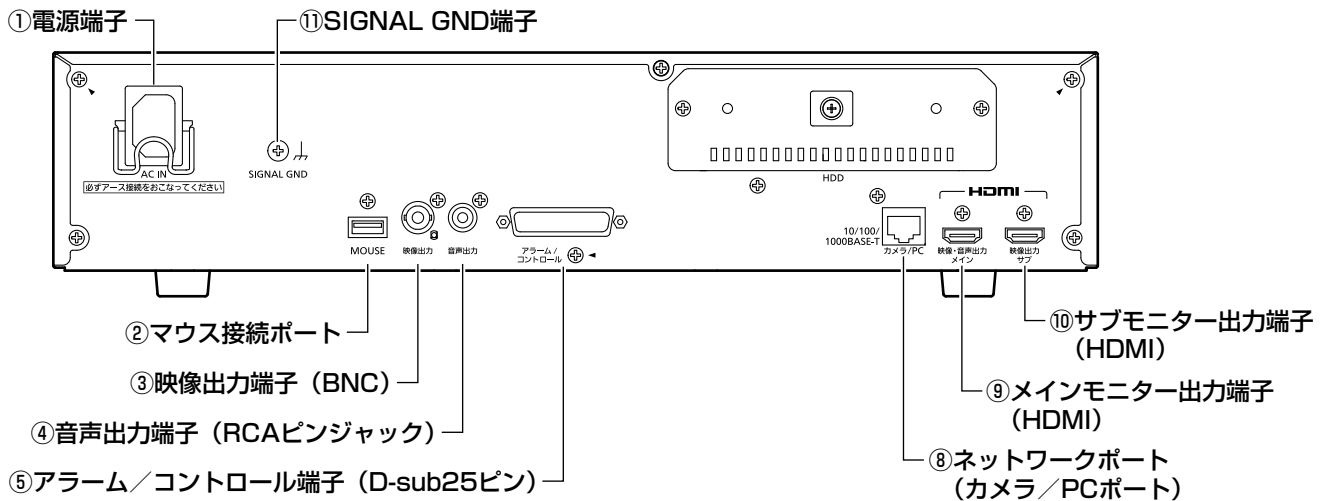
メモ

- DVDへ録画データをコピーした後は、PCで再生するためファイナライズ（取り出し処理）をしてください。（※取扱説明書 操作編（PDFファイル））
ファイナライズ操作をしないと、取り出しボタンを押してもトレイが開きません。

各部の名前とはたらき (つづき)

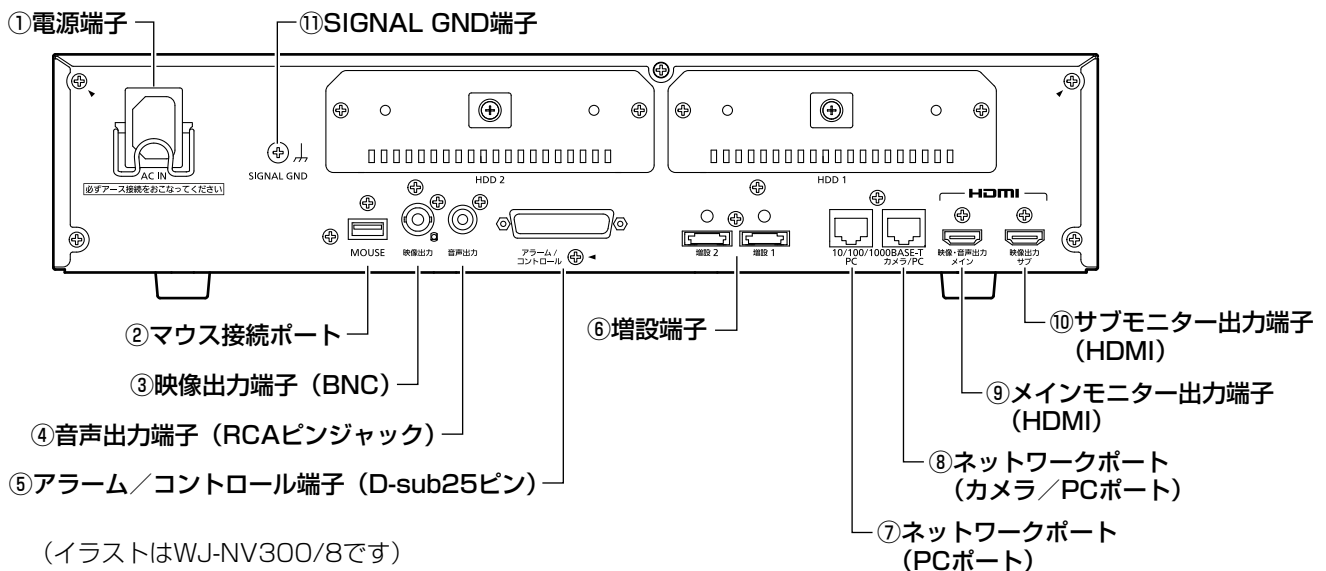
後面パネル

WJ-NV250シリーズ



(イラストはWJ-NV250V1です)

WJ-NV300シリーズ



(イラストはWJ-NV300/8です)

①電源端子 [AC IN]

付属の電源コードを接続します。電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。

②マウス接続ポート [MOUSE]

付属のマウスを接続します。

③映像出力端子 (BNC) [映像出力]

サブモニター (BNC) を接続します。サブモニター出力端子 (HDMI) と同じ映像を出力します。

④音声出力端子 (RCAピンジャック) [音声出力]

アンプ付きスピーカーなどを接続します。メインモニターに出力する音声と同じ音声を出力します。

⑤アラーム/コントロール端子 (D-sub25ピン)

[アラーム/コントロール]

センサーや防犯ドアスイッチなどアラーム信号を出力する装置、ブザーやランプなどの警報装置や外部機器で本機を操作する場合、本機を操作するための制御スイッチなどを接続します。

⑥増設端子 (NV300シリーズのみ)

別売りの増設ユニット (WJ-HDE400) と本機を接続ケーブル (増設ユニット付属) で接続します。

⑦ネットワークポート (PCポート) [PC]

(NV300シリーズのみ)

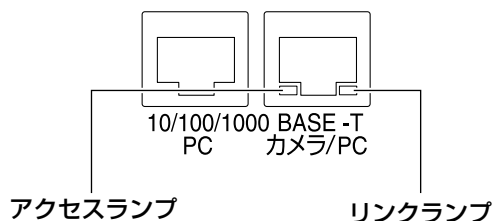
10BASE-T、100BASE-TXまたは、1000BASE-Tネットワークに接続し、本機とPCを接続します。カメラを接続したネットワークとPCを接続したネットワークが異なる場合に使用します。

⑧ネットワークポート (カメラ / PCポート)

[カメラ / PC]

10BASE-T、100BASE-TXまたは、1000BASE-Tネットワークに接続し、本機とカメラやPCを接続します。アクセス中はアクセスランプ (緑色) が点滅します。リンク中はリンクランプ (橙色) が点灯します。

※イラストはNV300シリーズです。



⑨メインモニター出力端子 (HDMI) [メイン]

HDMI対応モニター (メインモニター) を接続します。ライブ画像、再生画像の表示や本機の設定画面を表示します。

⑩サブモニター出力端子 (HDMI) [サブ]

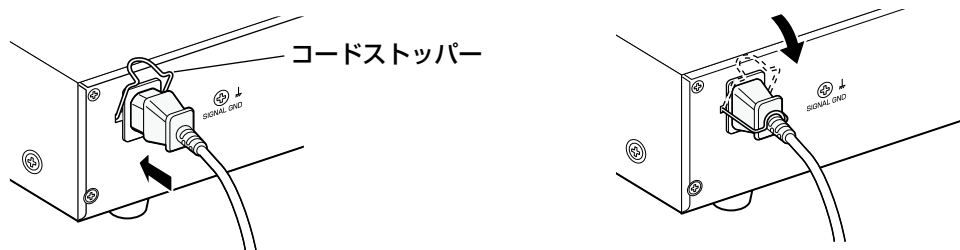
HDMI対応モニター (サブモニター) を接続します。ライブ画像のみを表示します。

⑪ SIGNAL GND端子 [SIGNAL GND]

本機のSIGNAL GND端子とシステムの他の機器のSIGNAL GND端子を接続して、アースを取ってください。アースを取らないと発振する、ノイズが出るなどの不具合の原因となる場合があります。

コードストッパーの使いかた

コードストッパーを引っ掛けて、電源コードを固定します。



本機ของผู้ใช้管理について

本機を直接操作するユーザーや、LAN などのネットワークを経由して本機にアクセスするPC（ホスト）は、あらかじめ本機にユーザー登録しておく必要があります。ユーザーは16ユーザーまで登録できます。ユーザー情報として以下の情報が登録できます。

項目	内容
ユーザー名	本機にログインするユーザー名です。ログイン画面で入力します。
パスワード	本機を使用するユーザーのパスワードです。ログイン画面で入力します。
レベル	操作できる機能範囲により、ユーザーは以下のレベルに分けられます。 管理者／マネージャー／オペレーター／ビューワー／ログアウト時 管理者はすべての設定や操作を行えます。その他のレベルで操作できる機能は、あらかじめ選択することができます。(※取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル))
レベルの優先度	操作の優先度です。ユーザーの優先度は各レベルにそれぞれ0（高優先）～4（低優先）が固定で割り当てられています。 管理者 0 最高 マネージャー 1 高 オペレーター 2 ビューワー 3 ログアウト時 4 低 同じレベルのユーザーが同じ操作をした場合は、後からの操作に従い動作します。
スタートモニター	ログイン直後に表示するメインモニター／PC画面のライブ画像の表示画面を設定します。

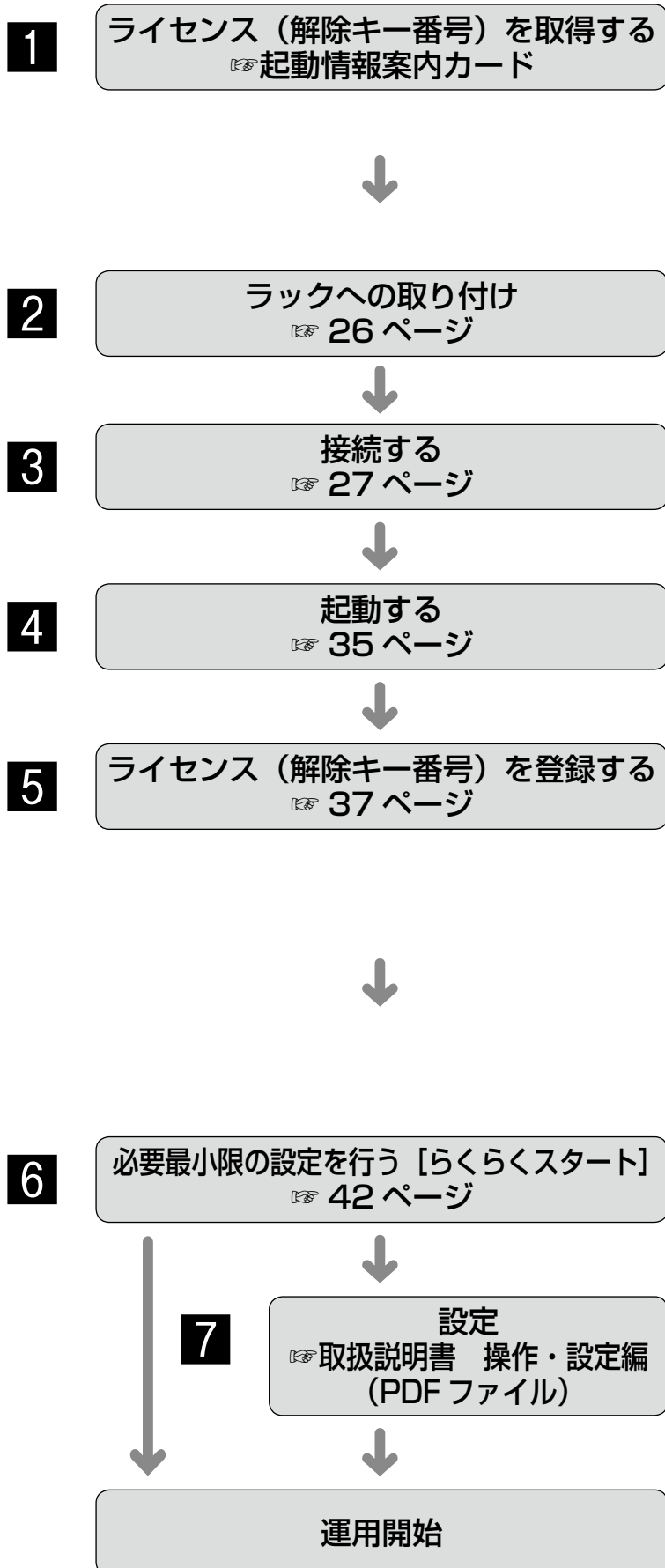
ネットワークを経由してPCから操作する場合

ネットワークを経由してPCから本機を操作します。最大8ホスト（PC）（NV250シリーズは最大4ホスト）から同時にアクセスすることができます。すでに最大数のホスト（PC）がログインしているときに、新たに別のホスト（PC）がログインしようとする、優先度の低いユーザーがログアウトします。また、同一優先度の場合は、先にログインしていたユーザーがログアウトします。

また、ネットワークを経由してPCから本機へアクセスする場合、設定メニュー [ユーザー管理] - [基本] タブの「ユーザー認証」の設定 (※取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル)) によって、認証方法が異なります。

ユーザー認証の設定	ログインするユーザー／ホスト	備考
Off	管理者ユーザーで本機にログインします	
On	ユーザー登録されているユーザーでログインできます	ログイン画面が表示されます

運用までの流れ



1 本機に付属の起動情報案内カードに記載されている方法に従って、本機の解除キー番号を取得してください。接続カメラ台数を増やす場合は、カメラ拡張キット（別売り）の起動情報案内カードにより、カメラ拡張の解除キー番号を取得してください。

2 本機をラックへ取り付けます。ラックに取り付けない場合は、3へ進みます。

3 本機にカメラやモニターなどの各機器を接続します。

4 本機の電源を入れます。

5 本機の解除キー番号を登録します。必要に応じて、カメラ拡張、ビジネスインテリジェンス拡張などの解除キー番号を登録します。

重要

- 必ず本機の解除キー番号の登録をしてください。本機の解除キー番号を登録しないと、拡張の解除キー番号を登録できません。また、画面に登録を促すメッセージが表示されます。

6 「らくらくスタート」で日付と時刻、カメラの登録を行います。他の設定を初期設定から変える必要がなければ、運用を開始できます。

7 必要に応じて各機能の詳細設定をします。

メモ

- 接続するカメラによっては、対応していない機能があります。カメラごとの詳細仕様については、カメラの取扱説明書をお読みください。

ラックへの取り付け

本機を取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。

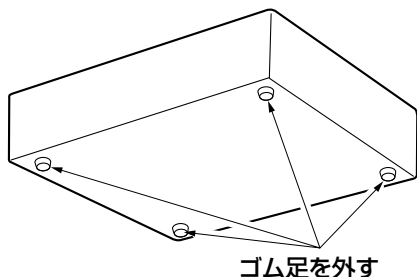
- スタンダードラック : WU-RS80 (弊社製、収納ユニット数27 U)
- ロングラック : WU-RL85 (弊社製、収納ユニット数39 U)
- EIA規格相当品 (他社製) : EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

メモ

- ラックに取り付ける場合は別売りのラックマウント金具、ラックマウント金具取付ねじが必要です (下図参照)。
- 他社製ラックに取り付ける場合は、ラック取付ねじ (YBSNG003 : 別売り) またはM5×12ねじ (4本) が必要です。
- 本ページのイラストは、形状の詳細を省略しています。

STEP1

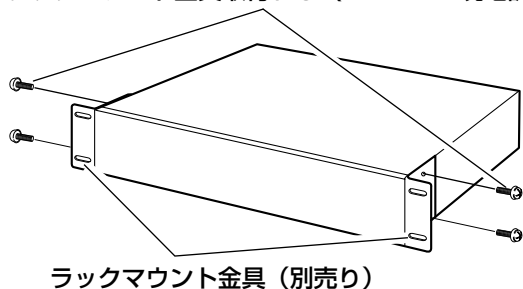
底面のゴム足 (4個) を外します。
ドライバーで、ゴム足を固定しているねじを外します。



STEP2

本機の両側面に、ラックマウント金具 (YBSKG032 : 別売り) を取り付けます。
ラックマウント金具取付ねじ (4本) で確実に固定します。

ラックマウント金具取付ねじ (M4×10 現地調達)

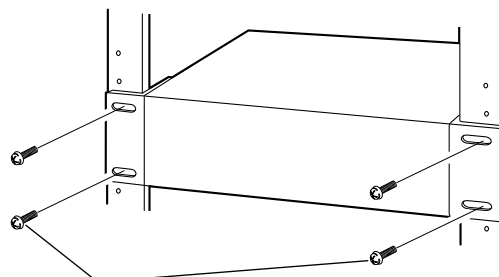


メモ

- ラックマウント金具には、前面側のラックからの飛び出しを調整するため、2種類のねじ止め部があります。設置条件に合わせて使用してください。

STEP3

本機をラックに取り付けます。
ラック取付ねじ (4本) で確実に固定します。



ラック取付ねじ
弊社製ラックの場合 : 呼び径5タッピング (ラックに付属)
他社製ラックの場合 : YBSNG003 (別売り)、
またはM5×12 (現地調達)

重要

- 本機の使用温度範囲は+5℃～+45℃です。
※HDDは温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。+25℃程度でのご使用をお勧めします。
- 使用温度範囲内でご使用いただくために、ラック設置時は以下の対策を行ってください。
 - ・ファンなどを取り付けてラック内温度を下げる
 - ・本機の上に1U (44 mm) 以上の間隔をあける
 - ・ラック前面に扉をつけない、四方をふさがない

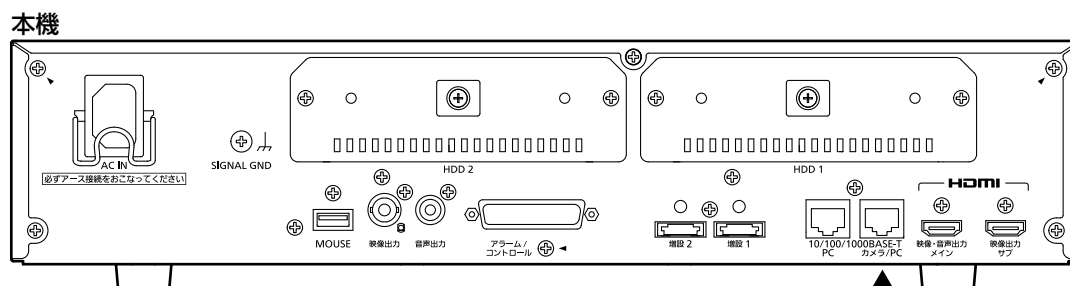
接続する

カメラを接続する

最大32台（NV250シリーズは最大24台）のカメラをスイッチングハブ経由で接続します。

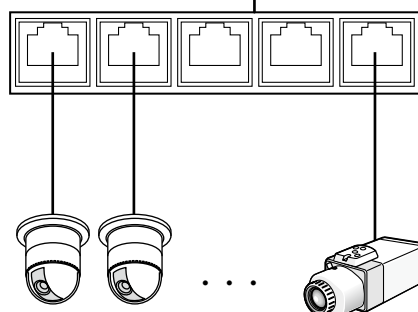
本機のカメラ／PCポートに接続します。

本機とスイッチングハブはEthernetケーブル（ストレート）で接続します。



Ethernetケーブル
(市販品: 10BASE-T/100BASE-TX/
1000BASE-Tカテゴリー5e以上、
ストレート)

スイッチングハブ



ネットワークカメラ×最大32 (NV300シリーズ)
ネットワークカメラ×最大24 (NV250シリーズ)

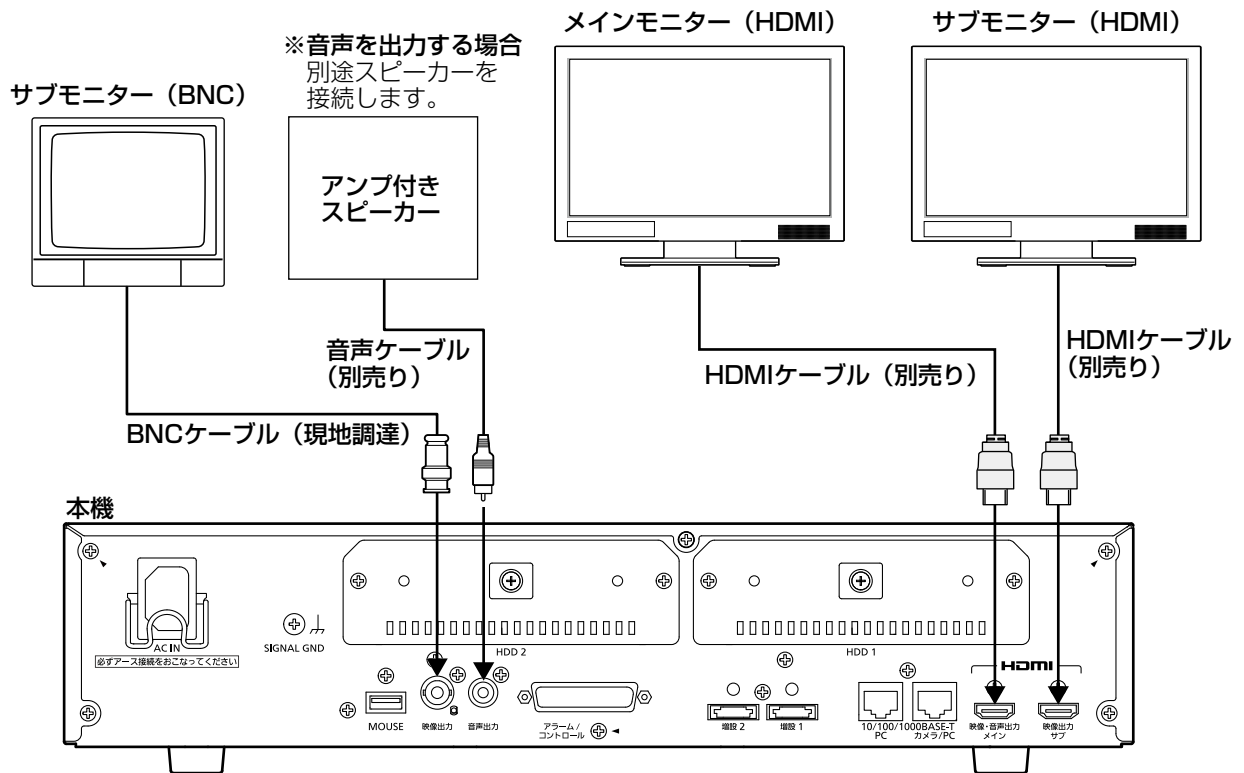
メモ

- 本機とカメラ間の接続は、128 Mbps（NV250シリーズは64 Mbps）のトータルビットレートが確保されたネットワーク帯域になるようにシステム設計を行ってください。
- 無線LANの機能があるカメラの場合でも、本機に接続する場合は必ず有線のネットワークを使用してください。

接続する（つづき）

モニターを接続する

ライブ画像のほか、再生画像や設定メニューを表示するメインモニターおよびライブ画像のみを表示するサブモニター（HDMI）は、HDMIケーブル（別売り）でHDMI（映像・音声出力）端子に接続します。サブモニター（BNC）は、BNCケーブル（現地調達）で映像出力端子に接続します。



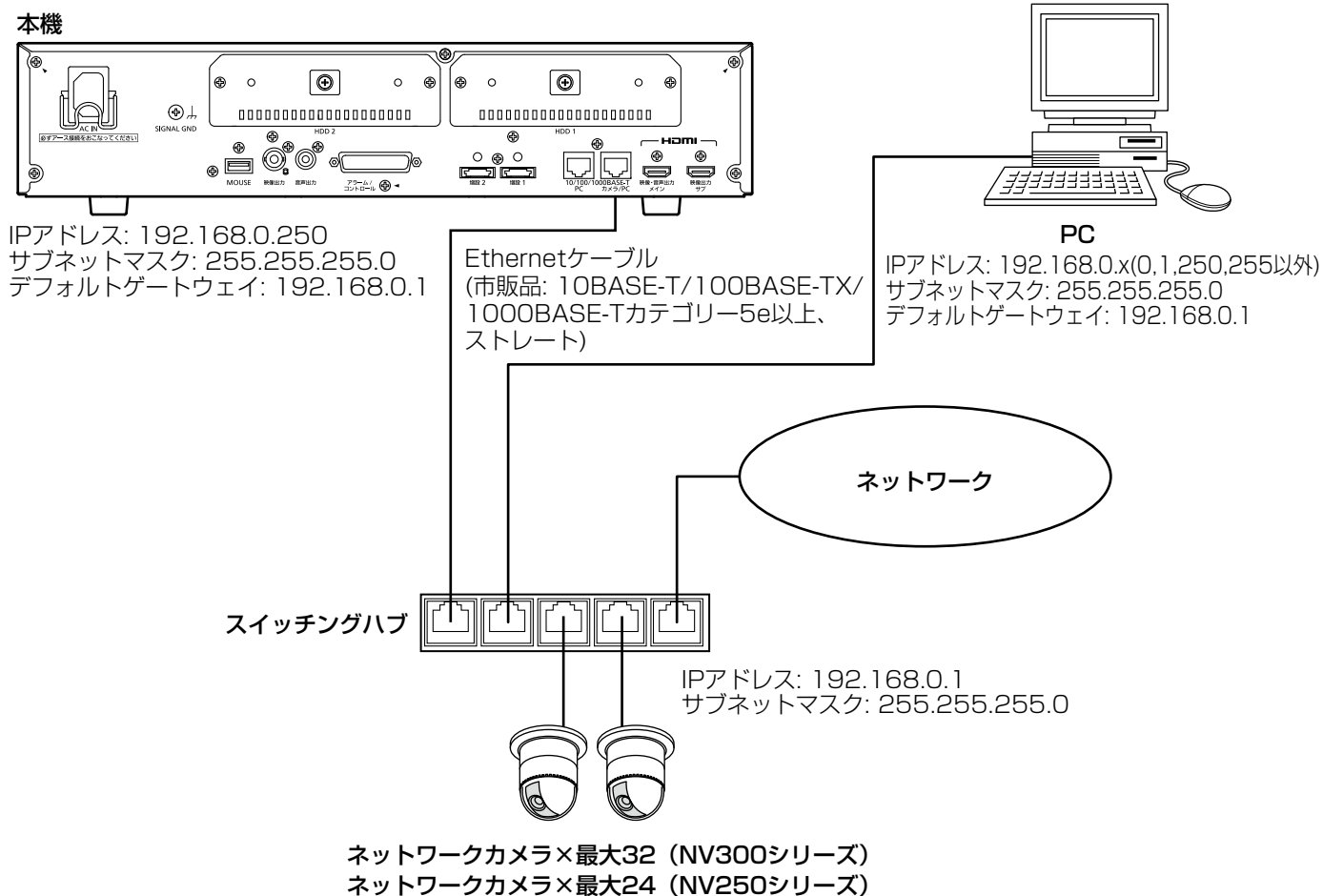
メモ

- HDMIケーブルは「ハイスピードHDMI®ケーブル」を使用してください。
- 画質の劣化防止や安定した動作のため、HDMIケーブルは10 m以下のものを使用してください。
- HDMIケーブルで接続したメインモニターから音声を出ることができます。
- 音声ケーブルで接続したスピーカーからもメインモニターと同じ音声を出します。
- HDMIケーブルで接続したサブモニター（HDMI）からは音声を出しません。

PCを接続する

本機とPCをスイッチングハブ経由で接続します。

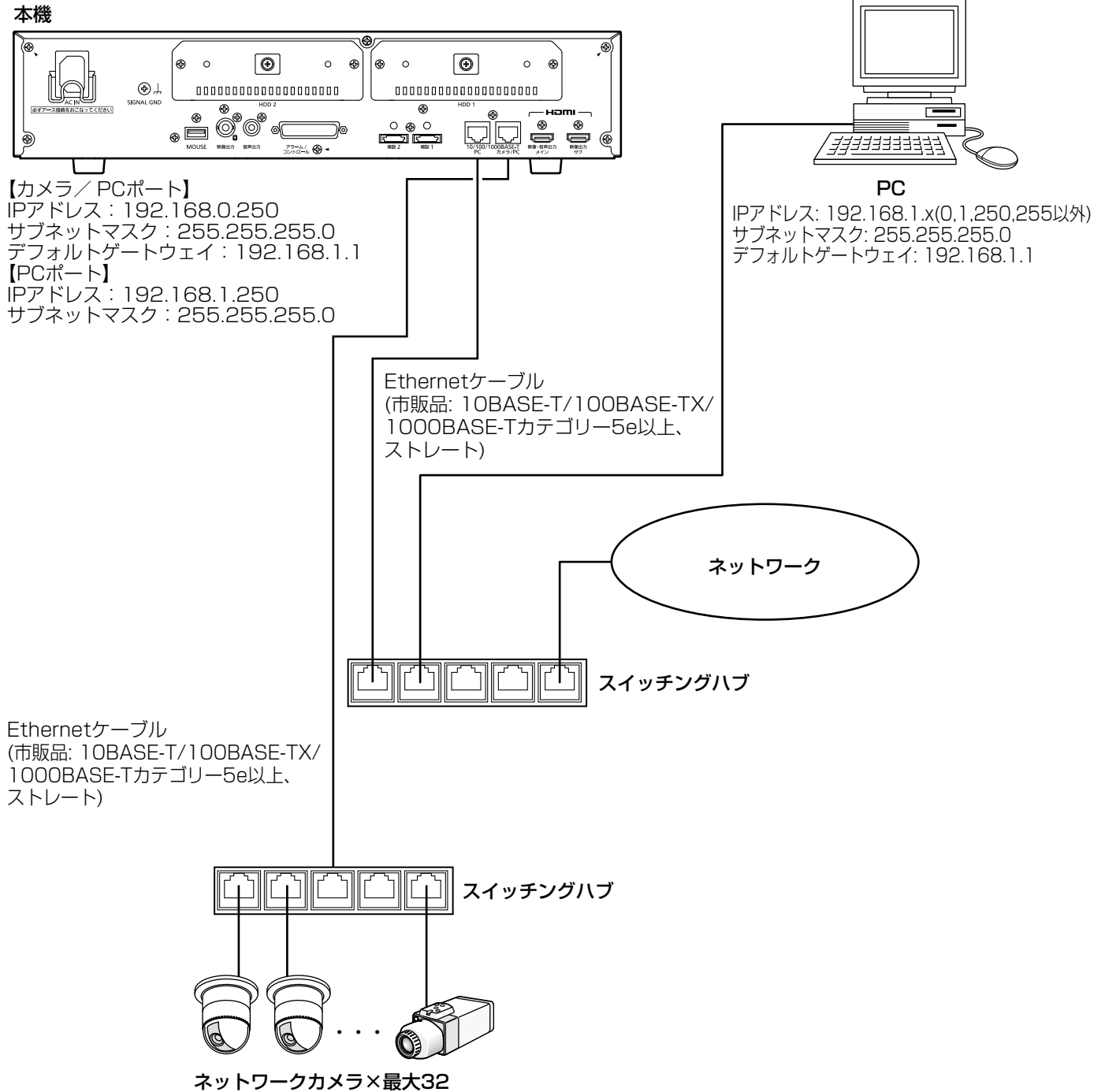
PCとカメラが同じネットワーク上にある場合は、カメラ / PCポートにPCを接続します。



接続する (つづき)

PCがカメラと異なるネットワーク上にあり、PCからカメラに直接アクセスできない場合は、PCポートにPCを接続します。(NV300シリーズのみ)

設置



メモ

- カメラは必ずカメラ／PCポートに接続してください。PCポートにカメラを接続した場合、らくらくスタートでは自動でカメラ検出できません。

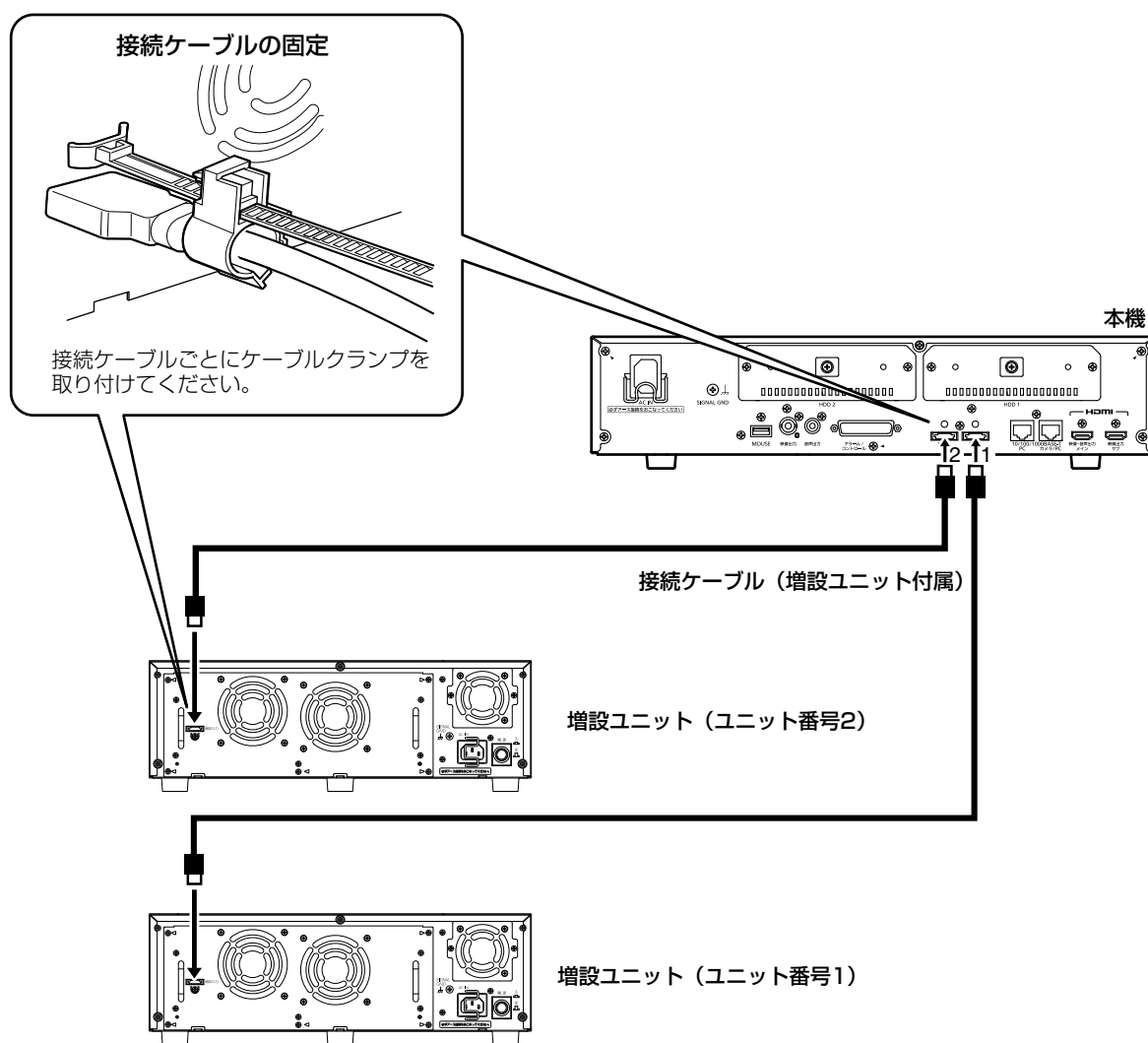
増設ユニットを接続する (NV300シリーズのみ)

本機1台に増設ユニット (WJ-HDE400:別売り) を最大2台まで接続できます。本機と増設ユニットは増設ユニットに付属の接続ケーブルで接続します。

増設ユニットを設置する場合は以下のように接続します。また、増設ユニットの取扱説明書もあわせてお読みください。

増設ユニットを接続することで、RAID5やRAID6の運用が可能になります。

RAID運用の設定方法は、取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル) をお読みください。



重要

- 接続には、増設ユニットに付属されている接続ケーブルを必ずご使用ください。
- 接続ケーブルは、必ず増設ユニット付属のケーブルクランプで固定してください。接続が不十分な場合や抜けた場合、システムが不安定になったり、画像が記録できなくなります。
- 接続ケーブルを円状に巻いて束線しないでください。

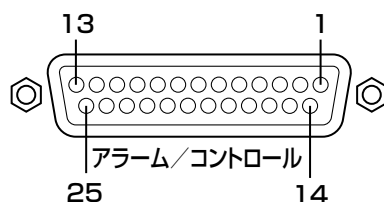
端子について

アラーム／コントロール端子の使いかた

センサーなどのアラーム信号を出力する装置の接続や、ブザー、ランプなどの警報装置を外部に設置するときに使用します。使用するコネクタは、ピン配列に合わせて製作してください。

ピン配列

ピン配列は他の弊社製レコーダーと異なります。必ず下記に従って接続してください。



ピン番号	名称	動作内容	備考
1	アラーム入力1	設定に従ったイベント動作を行う	メーク接点入力
2	アラーム入力2		
3	アラーム入力3		
4	アラーム入力4		
5	アラーム入力5		
6	アラーム入力6		
7	アラーム入力7		
8	アラーム入力8		
9	アラーム入力9		
10	ネットワーク異常出力*	ネットワーク系の異常を検出したときに信号を出力する	オープンコレクタ出力 最大DC24 V、-100 mA
11	アラーム復帰入力	本機のアラーム表示を解除する	メーク接点入力
12	使用しない		
13	シグナルグランド		
14	シグナルグランド		
15	顔照合出力	顔照合アラーム発生時に出力する	オープンコレクタ出力 最大DC24 V、-100 mA
16	HDD異常出力*	HDDの異常を検出したときに信号を出力する	
17	カメラ異常出力*	カメラの異常を検出したときに信号を出力する	
18	機器異常出力*	本機の異常を検出したときに信号を出力する	
19	録画異常出力*	本機の録画異常を検出したときに信号を出力する	
20	時刻合わせ入力	信号を入力すると、本機の時刻を正時（00分00秒）に合わせる	メーク接点入力
21	アラーム出力	イベント発生時にアラーム信号を出力する（顔照合アラームを除く）	オープンコレクタ出力 最大DC24 V、-100 mA
22	使用しない		
23	使用しない		
24	使用しない		
25	+5 V出力	+5 V出力	最大200 mA

*各異常出力のエラー内容については、「エラー履歴・ネットワークログについて」（[取扱説明書 操作設定編](#) (PDF)）をお読みください。

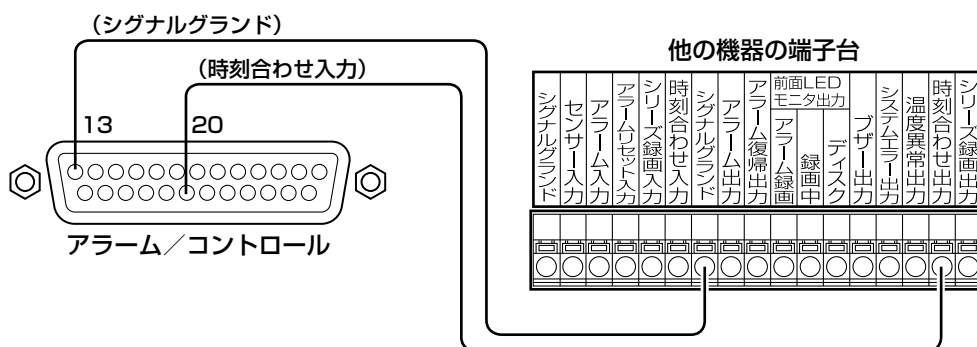
自動時刻合わせ機能の接続

時刻合わせ入力端子（ピン番号20）に他の機器からの信号が入力されると、時間差が29分以下の場合は、時刻合わせをすることができます。

正時（毎時00分）の29分前から正時の29分後までの間に信号が入力された場合は、本機の時刻を正時（00分00秒）に合わせます。

例：

- 午後2時50分00秒に信号が入力 → 午後3時00分00秒に設定
- 午後3時28分45秒に信号が入力 → 午後3時00分00秒に設定
- 午後3時29分30秒に信号が入力 → 時刻合わせは実行されません。



重要

- イベント録画中は、時刻合わせは実行されません。

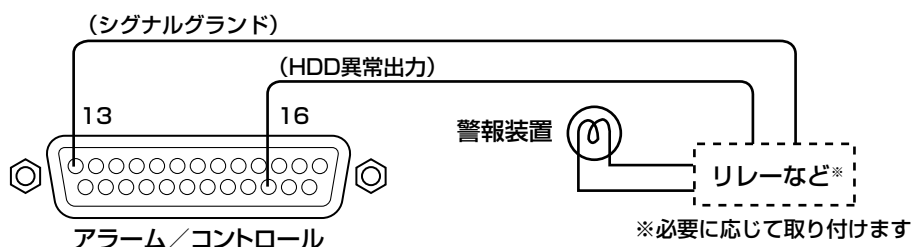
メモ

- 時刻合わせ入力端子による時刻合わせを行う場合は、「自動時刻合わせ」の設定を「On」にします。（※取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル））

制御出力の接続

ピン番号10および15～19の端子に、ブザーやランプなどの警報装置を接続すると、信号出力時にブザーを鳴らしたり、ランプを点灯したりして動作状態を知らせることができます。

HDD異常出力（ピン番号16）の接続例は以下のとおりです。

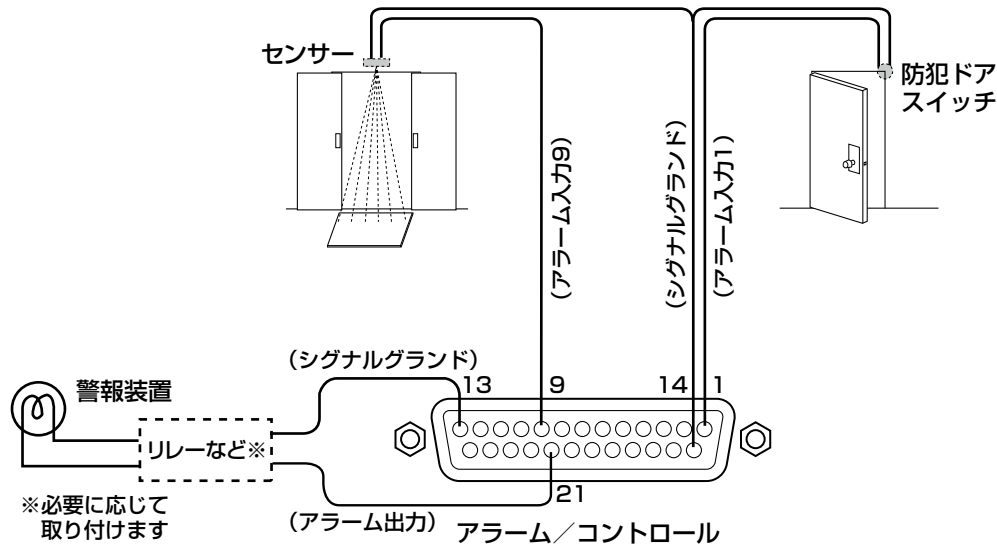


端子について (つづき)

アラーム接続

アラーム入力端子1～9 (ピン番号1～9) に信号が入力されると、設定内容に従って録画動作やアラーム動作を行います。

また、ブザーやランプなどの警報装置を外部に設置するときは、アラーム出力端子 (ピン番号21) に接続します。



アラーム／コントロール端子の時間と極性

端子	アクティブ時間	備考
アラーム入力	100 ms以上	N.O.時：Lアクティブ N.C.時：Hアクティブ
ネットワーク異常出力	エラー発生～障害出力時間* まで	Lアクティブ
アラーム復帰入力	100 ms以上	Lアクティブ
顔照合出力	設定メニューでの設定時間	Lアクティブ
HDD異常出力	エラー発生～障害出力時間* まで	Lアクティブ
カメラ異常出力	エラー発生～障害出力時間* またはカメラ復帰まで	Lアクティブ
機器異常出力	エラー発生～障害出力時間* まで	Lアクティブ
録画異常出力	エラー発生～障害出力時間* まで	Lアクティブ
時刻合わせ入力	入力：100 ms以上	Lアクティブ
アラーム出力	設定メニューでの設定時間	Lアクティブ

*障害出力時間については設定メニューの [詳細設定] - [メンテナンス] - [システム設定] で設定します。(取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル))

メモ

- Lアクティブ (Low active、ロー・アクティブ) 時は、信号の電圧レベルがLowレベルのときに論理が有効となります。
- Hアクティブ (High active、ハイ・アクティブ) 時は、信号の電圧レベルがHighレベルのときに論理が有効となります。

起動する

電源を入れる

本機の電源を入れます。また、本機を初めて使用するときは、本機のライセンスを登録します。(P.37ページ)

STEP1

本機の後面パネルの電源端子に付属の電源コードを接続し、電源プラグをAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源コンセントに差し込みます。

→ [通電] ランプが点灯し、システムチェック（本体・HDD）が開始され、メインモニターに起動中画面が表示されます。



重要

- 起動処理中は絶対に電源を切らないでください。
- 必ずAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源を使用してください。

メモ

- 本機のライセンスが未登録の場合、システムチェックが終了すると、メインモニターに解除キー番号の登録を促す画面が表示されます。

解除キー番号を登録すると、この画面は表示されなくなります。

解除キー番号の入手方法は、本機に付属の起動情報案内カードをお読みください。

STEP2

本機のライセンスが未登録の場合は、37ページの手順に従って、解除キー番号を登録してください。

メモ

- 本機起動後に操作したとき、ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。操作方法については、取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル）をお読みください。
- お買い上げ時、管理者名とパスワードは以下のように設定されています。

管理者名 : ADMIN
パスワード : 12345

- 一度本機の解除キー番号を登録すると、次回の起動時からは、解除キー番号の登録を促す画面は表示されません。

電源を切る

本機の電源を切ります。次の手順で電源を切ってください。

STEP1

録画中は、設定メニューの「録画・イベント」→「高度な設定」タブの「録画動作」を「Off」に設定し、すべての録画を停止します。（[取扱説明書 操作・設定編](#)（PDFファイル））

STEP2

「録画」ランプが消灯していることを確認してから、電源プラグを電源コンセントから抜きます。
→ 「通電」ランプが消灯します。

重要

- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 機能に支障をきたす場合がありますので、1週間に1回程度、電源を入れて録画・再生し、画像を確認してください。

メモ

- 次に電源を入れたときに、録画開始の操作（「録画動作」を「On」に設定）を忘れずに行ってください。

ライセンス(解除キー番号)を登録する

本機を初めて使用する時、または、接続できるカメラ台数を増やすときは、本機にライセンス(解除キー番号)を登録をする必要があります。

重要

- 以下の場合、必ず「再起動」ボタンをクリックし、本機を再起動させてください。本機が再起動しないと各ライセンスが有効になりません。
 - 本機の解除キー番号を登録したとき
 - カメラ拡張やその他の拡張機能のライセンスを追加したとき
- 追加したカメラは、「らくらくスタート」(P.42ページ)または、「カメラ登録」でカメラを登録してください。また、各設定値は初期設定となりますので、必要に応じて各種設定を行ってください。

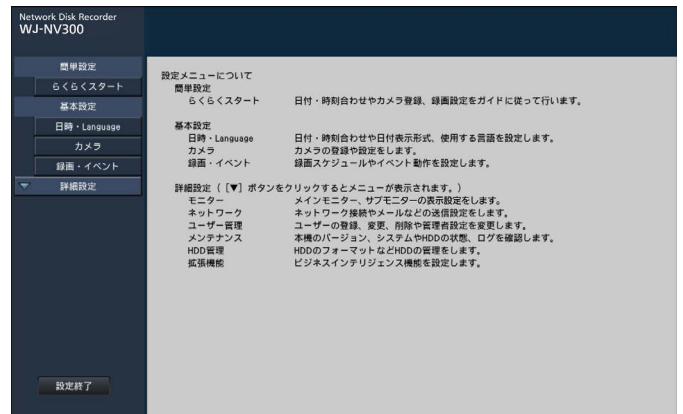
STEP 1

本機に付属の起動情報案内カードに従って、本機の解除キー番号を取得します。
カメラを追加する場合は、カメラ拡張キット(別売り)により、同じくカメラ拡張の解除キー番号を取得します。

拡張機能を使用する場合は、ビジネスインテリジェンス拡張キット(別売り)により、解除キー番号を取得します。

詳しくは、各起動情報案内カードをお読みください。

→設定画面が表示されます。



STEP 2

本機を起動します。(P.35ページ)

→システムチェックが終了すると、メインモニターに操作画面が表示されます。ライセンス未登録の場合は、登録を促す画面が表示されます。

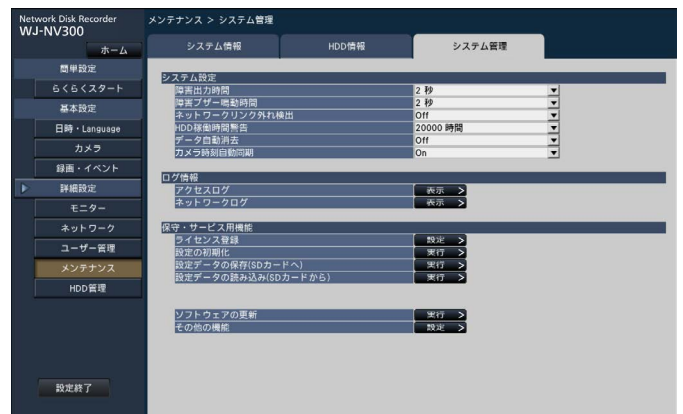
STEP 4

設定メニュー「詳細設定」の「メンテナンス」→「システム管理」タブの順にクリックします。

→「システム管理」画面が表示されます。

STEP 3

「設定」ボタンをクリックします。

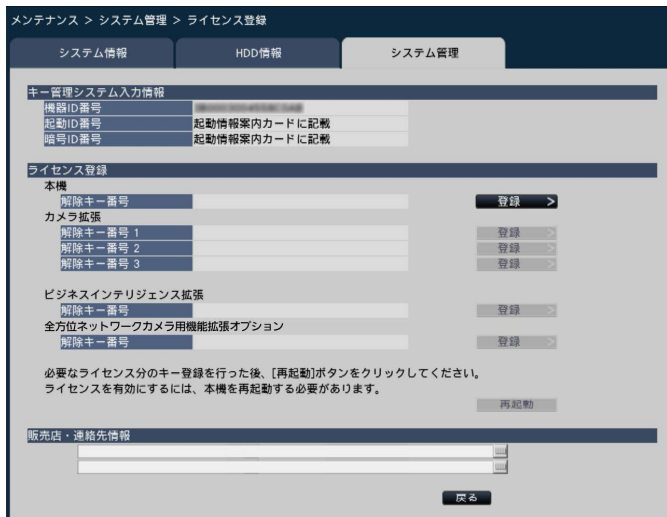


起動
セット
アップ

ライセンス（解除キー番号）を登録する（つづき）

STEP5

「ライセンス登録」の「設定>」ボタンをクリックします。
→ライセンス登録画面が表示されます。



STEP8

カメラ台数を増やす場合は、STEP1で取得したカメラ拡張の解除キー番号をSTEP5のライセンス登録画面にある「カメラ拡張」-「解除キー番号1～3（NV250シリーズは1～4）」に入力します。拡張機能を使用する場合は、同じく「ビジネスインテリジェンス拡張」-「解除キー番号」に入力します。入力方法は、STEP6、STEP7と同じです。

メモ

- 本機のライセンスを先に登録してください。逆順での登録はできません。

STEP9

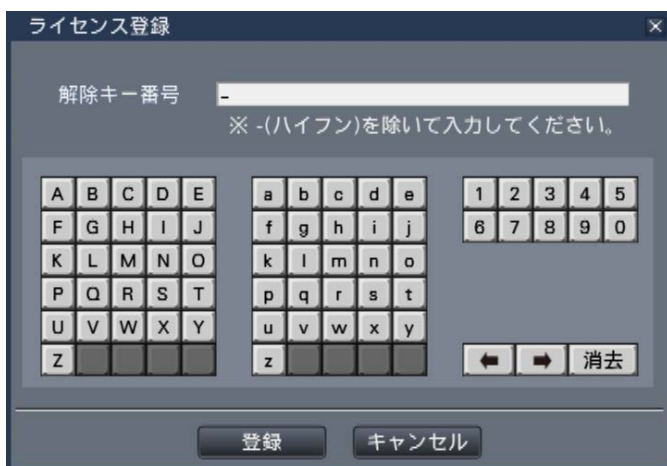
ライセンス登録画面の「再起動」ボタンをクリックします。
→本機が再起動し、各ライセンスが有効になります。

STEP6

「本機」-「解除キー番号」の「登録>」ボタンをクリックします。
→解除キー番号を入力する画面が表示されます。

STEP7

ソフトキーボードを使って、本機の解除キー番号を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



→ライセンス登録画面に戻ります。

メモ

- エラー画面が表示された場合は、再度入力欄に有効な解除キー番号を入力してください。

基本的な操作のしかた

本機の操作は、本機後面のマウス接続ポートに接続したマウス（付属品）から行います。

本機の操作と一部の設定は、PCのウェブブラウザからも行うことができます。ウェブブラウザの操作や設定できる項目については、取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル）をお読みください。

STEP1

本機後面のマウス接続ポートに付属のマウスを接続します。

→メインモニターにマウスカーソルが表示されます。

STEP2

画面上のボタンやタブを左クリックして操作します。

(以降、本書では左クリックをクリックと表記します)

[▲] / [▼] ボタンまたは [▼] ボタンのある入力欄にカーソルがある場合は、マウスホイールで値を変更できます。

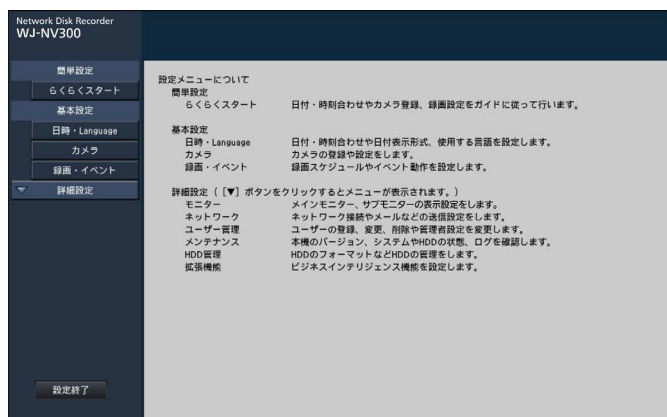
10秒間何も操作しないと、マウスカーソルが非表示になります。マウスを動かすと再び表示されます。



STEP3

[設定] ボタンをクリックします。

→設定メニューのトップ画面が表示されます。




メモ

- 表形式の設定画面では、先頭のタイトル行に [▼] ボタンがある場合、その列の設定を一括して変更することができます。

カメラ	品番	圧縮方式	基本設定			
			解像度	レート	画質	録音
1	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
2	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
3	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
4	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
5	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
6	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
7	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
8	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off

基本的な操作のしかた（つづき）

ソフトキーボードの操作について

設定項目の文字入力はソフトキーボードで行います。各設定画面にある入力欄右の  アイコンをクリックすると、ソフトキーボードが表示され、画面上の文字キーをクリックすることで、文字を入力できます。

ソフトキーボード画面



文字入力欄

【全消去】 ボタン

文字入力欄に入力されている文字列をすべて消去します。

【←】 / 【→】 ボタン

文字入力欄のカーソルを左右に移動します。

【消去】 ボタン

文字入力欄のカーソルのある文字を消去します。

【A / a】 ボタン

英数字表示のとき大文字／小文字を切り換えます。日本語表示のときは【あ／ア】ボタンとなり、ひらがな／カタカナを切り換えます。

【切換】 ボタン

表示文字キーを切り換えます。

英数字→日本語1→日本語2→英数字、と表示されるキーが切り換わります。

日本語1は五十音を入力するとき、日本語2は、濁音、半濁音、小文字母音を入力するときに使用します。

【確定】 ボタン

入力した文字列を確定し、ソフトキーボード画面を閉じます。

メモ

- HDMIモニターに表示されるソフトキーボードでは、漢字の入力はできません。PCのウェブブラウザからは漢字入力が可能です。
- ログイン画面やライセンス登録画面なども、基本的な操作方法は同様です。
- 文字入力を確定せずに画面を閉じるには、【×】ボタンをクリックしてください。

設定画面について

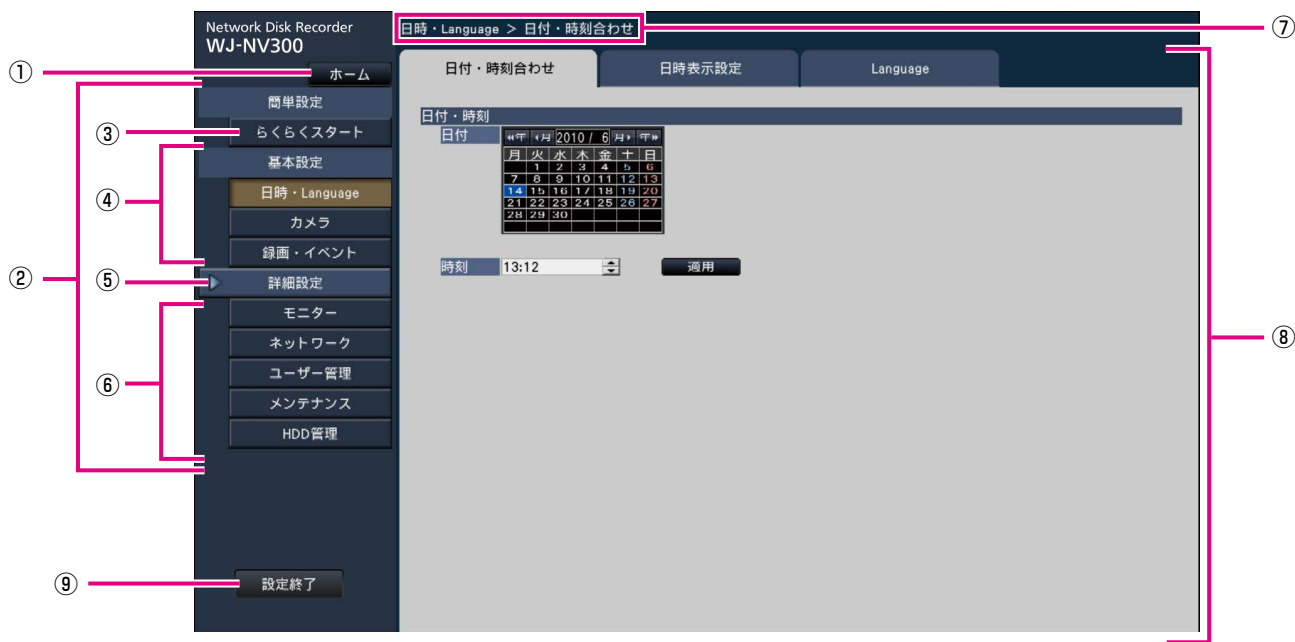
本機を操作する場合、あらかじめ、設定メニューで各項目を設定しておく必要があります。

設定には、必要最低限の内容のみ設定し他の項目は初期設定のまま運用する「らくらくスタート」と、さまざまな運用方法に合わせてカスタマイズする「基本設定」および「詳細設定」があります。

ここでは設定画面の代表的な例を用いて、設定画面の概要と操作方法を説明します。

設定画面は、メインモニターに表示される操作画面右上の [設定] ボタン (P.39ページ) をクリックすると表示されます。

設定画面の左側には、設定メニューが表示されます。



① [ホーム] ボタン

どの設定ページからでも、設定のトップ画面 (P.39ページ) に戻ります。

② 設定メニューパネル

各設定メニューボタンを表示します。

③ [らくらくスタート] ボタン

日時やカメラ登録など、運用開始に最低限必要な設定をウィザード形式で設定できます。

④ 基本設定 - 各種設定メニューボタン

基本設定の各設定ページを表示します。

⑤ [詳細設定] ボタン

詳細設定の各種設定メニューボタンを表示します。再度クリックすると、各種設定メニューボタンが非表示となります。

⑥ 詳細設定 - 各種設定メニューボタン

詳細設定の各設定ページを表示します。

⑦ 画面階層表示

表示されている設定ページ名称を階層表示します。タブ名称も含まれます。

⑧ 設定ページ

各設定メニューのページを表示します。複数タブで構成されているページは、タブをクリックしてページを切り換えます。

⑨ [設定終了] ボタン

設定した内容を本機に反映し、設定画面を閉じて運用画面に戻ります。

本書では、一部を除き、設定画面の表示例として、画面階層表示と設定ページを使用します。

重要

- 設定内容を変更すると、本機にログインしているすべてのユーザーが強制的にログアウトします。

必要最小限の設定を行う [らくらくスタート]

設定メニュー [簡単設定] - [らくらくスタート] では、日付設定やカメラの登録、録画の設定など、本機を使用するために必要な最小限の設定を行います。

まず、らくらくスタートで設定を行い、さらに詳細な設定を行いたい場合は、各設定メニューで設定を行います。

らくらくスタートでできること

●本機の日付と時刻の設定 ●カメラの登録 ●カメラの入れ換え ●録画のフレームレート、画質の設定

※上記以外は、カメラの設定および本機の初期設定のままで運用されます。

※時刻の再設定を行う場合は、らくらくスタートではなく [基本設定] - [日時・Language] から設定してください。

STEP1

設定メニューのトップ画面で [らくらくスタート] ボタンをクリックします。

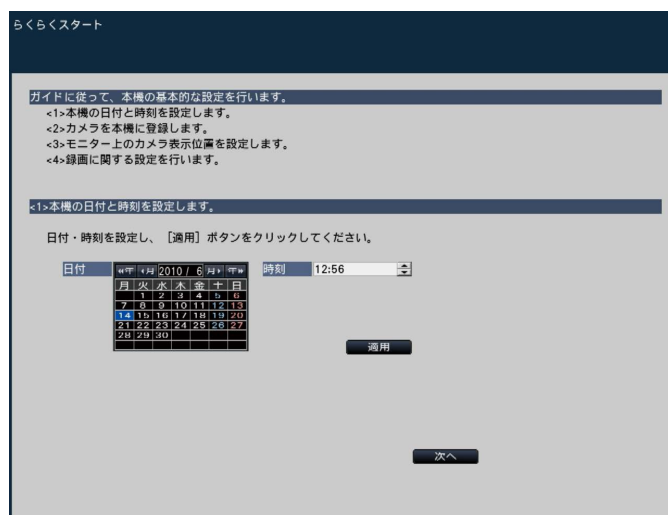
設定画面の表示のしかたは「基本的な操作のしかた」(P.39ページ) をお読みください。



→日付・時刻を設定する画面が表示されます。

STEP2

日付・時刻を設定します。



[日付]

現在の日付を設定します。カレンダーから年月日を選択します。

[<<年] [年>>] ボタン : 年を切り換えます。

[<月] [月>] ボタン : 月を切り換えます。

[時刻]

現在の時刻を設定します。

STEP3

日付、時刻を設定したら、[適用] ボタンをクリックします。

→00秒に設定されます。

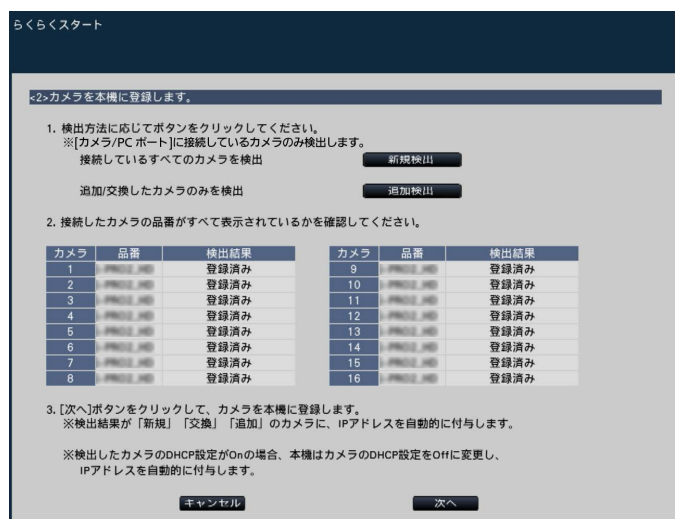
STEP4

[次へ] ボタンをクリックします。

→カメラの登録画面が表示されます。

STEP5

カメラを本機に登録します。



メモ

- カメラのIPアドレスをそのまま活用したい場合は、らくらくスタートではなく、カメラを検出して登録する [カメラ検出] (取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル)) をお読みください。
- 事前にカメラをネットワークに接続してください。カメラのライセンス登録台数より多く接続していても、ライセンス数分だけ検出します。不要なカメラは接続を外しておいてください。
- カメラはカメラ / PCポートに接続してください。PCポートに接続すると検出できません。

【新規検出】 ボタン

接続しているすべてのカメラを検出します。
画面上にカメラの品番および検出結果が表示されます。
接続したカメラの品番がすべて表示されているかを確認してください。

【追加検出】 ボタン

追加や交換したカメラのみを検出します。
画面上にカメラの品番および検出結果が表示されます。
追加や交換したカメラの品番がすべて表示されているかを確認してください。

重要

- すでに運用しているカメラがある場合、「新規検出」を行うと、接続しているすべてのカメラに新たにIPアドレスを付与するのでご注意ください。
- 運用開始後に追加したカメラは、初期設定で登録されます。すでに登録済みのカメラの設定と合わせるには、あらかじめ追加したカメラの設定を行ってください。
- ビデオエンコーダー (DG-GXE500) の場合、検出されるカメラはCH1のみになります。CH2～4は別途設定メニューから登録する必要があります。

【カメラ】

NV300シリーズは、ライセンス登録 (37ページ) により、16、24、32台の構成が可能です。
NV250シリーズは、ライセンス登録 (37ページ) により、9、12、16、24台の構成が可能です。

【品番】

弊社製カメラを使用している場合、そのカメラの品番が表示されます。

【検出結果】

- 新規 : 初めて本機にカメラを接続した場合に表示されます。
- 交換 : 本機に接続していたカメラを交換した場合に表示されます。
- 追加 : 本機にカメラを追加して接続した場合に表示されます。
- 登録済み : すでに登録済みのカメラの場合に表示されます。
- 消失 : 登録済みのカメラが検出されなかった場合に表示されます。
- 空欄 : カメラが検出されていません。

メモ

- 「消失」「空欄」が表示された場合は、カメラの電源が入っているか、正しく接続はできているかを確認してください。

STEP6

[次へ] ボタンをクリックします。
→新規・交換・追加を行ったカメラに対し、IPアドレスが自動的に付与され、運用画面にカメラ画像が表示されます。

メモ

- らくらくスタートでのカメラ登録は、ルーターを経由した異なるサブネットマスクのカメラでは行えません。
- セキュリティ強化のため、カメラの機種によっては、電源投入後20分経過するとIPアドレスを変更することができなくなります。20分以内にカメラの検出を行うか、20分以上経過してしまった場合はカメラの電源を入れ直してください。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
弊社製カメラの機種によっては、カメラの電源投入後20分以上経過した場合に「ONVIF」として検出されることがあります。その場合はカメラの電源を入れ直して再度検出を行ってください。
- 検出したカメラのDHCP設定が「On」の場合、本機はカメラのDHCP設定を強制的に「Off」に変更し、IPアドレスを自動付与します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、カメラの検出結果を反映せずに、らくらくスタートの初期画面 (日付・時刻を設定する画面) に戻ります。

必要最小限の設定を行う [らくらくスタート] (つづき)

STEP7

登録したカメラ番号を変更したい場合、カメラ番号を入れ換えることができます。



画面上には、登録したカメラが、左上から右に1、2、…16の順で表示されます（カメラ構成が4台の場合は4分割画面、9台の場合は9分割画面、12台または16台の場合は16分割画面、24台または32台の場合は2つの16分割画面となります）。

入れ換えたいカメラ画像をマウスでドラッグし、移動したい位置でドロップすると、カメラ番号が入れ換わります。

カメラタイトルも入れ換える場合は、「カメラタイトルも入れ換える」にチェックを入れてください。

【カメラの状態】

カメラ品番と各カメラの状態が一覧表示されます。

- 画像表示中 : 登録したIPアドレスまたは登録済みのIPアドレスで画像を表示しています。
- アドレス変更中 : IPアドレスを変更したカメラから画像を取得中です。
- 検出不可 : カメラの画像が取得できません。
- 認証エラー : 画像表示の認証に失敗しました。

重要

- 「検出不可」が表示された場合は、カメラの接続を確認し、カメラ登録をやり直してください。
- 「認証エラー」が表示された場合は、カメラの取扱説明書をお読みの上、カメラを初期化してからカメラ登録をやり直してください。
- 登録したカメラが正常に検出されない、またはカメラの設定を変更したい場合は、[基本設定] - [カメラ] の [カメラ登録] タブ（取扱説明書操作・設定編（PDFファイル））で「登録情報の変更」を行ってください。

【更新】 ボタン

入れ換え後のカメラの最新画像を取得します。

【終了】 ボタン

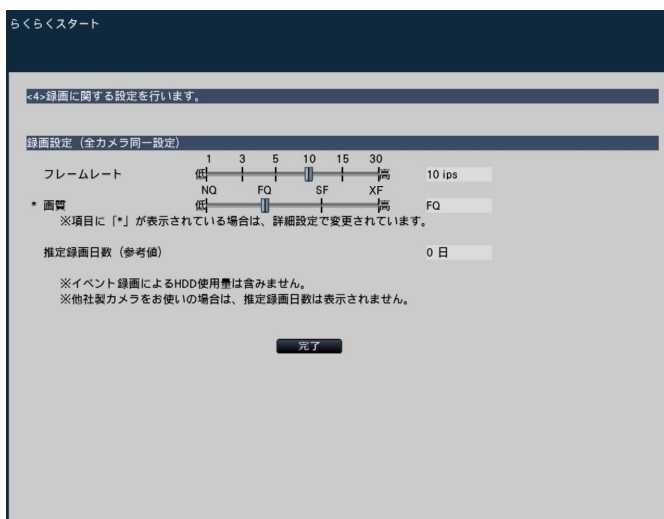
設定を終了して、設定メニューのトップ画面に戻ります。

【次へ】 ボタン

録画に関する設定に進みます。

STEP8

録画に関する設定を行います。らくらくスタートでの設定は、すべてのカメラで同一の設定となります。



【フレームレート】

録画のフレームレートを選択します。

1 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 15 ips / 30 ips
初期設定 : 10 ips

メモ

- 60 ipsを設定する場合は、[基本設定] - [録画・イベント] の [録画設定] タブにある「録画詳細設定」で設定します。

【画質】

録画画像の画質を選択します。

NQ (Normal) : 標準画質
FQ (Fine) : 高画質
SF (Super Fine) : 最高画質
XF (Extra Fine) : 超高画質
初期設定 : FQ

メモ

- 圧縮方式が「MJPEG」のカメラの場合、「XF」を選択すると「SF」が設定されます。
-

【推定録画日数（参考値）】

HDDに録画可能な日数を計算し、表示します。

メモ

- 推定録画日数は、月曜日から録画を開始した場合を想定して計算します。
 - イベント録画によるHDD使用量は含みません。
 - 他社製カメラをご使用の場合は、推定録画日数は表示されません。
 - 高解像度、高画質で録画する設定にした場合、設定したレートで録画できないことがあります。他社製のカメラが含まれていないときに指定レートで録画できない可能性がある設定になっていると、確認画面が表示されます。
-

STEP9

[完了] ボタンをクリックします。

→設定を保存し、設定メニューのトップ画面に戻ります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	—
	●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。	22
モニターにカメラ画像が表示されない	●カメラのレンズキャップは外しましたか？ レンズキャップが外れているか、確認してください。	—
	●カメラや接続機器の電源は入っていますか？ 電源が入っているか、確認してください。	—
	●ケーブルは正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか、確認してください。	27、28
	●モニターの輝度調整、コントラスト調整は正しくされていますか？ 設定を確認してください。	—
	●ログインしているユーザーはカメラ画像を表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	操作・設定編
画面が欠けて表示される	●モニターの表示／領域のぼらつきによるもので、故障ではありません。	—
	●接続しているモニターで映像を自動で拡大表示にする機能が有効になっている場合、映している被写体によっては画面がかけて表示される場合があります。	—
画像がぼやける	●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ カメラのレンズを確認してください。	—
メニューを開けない	●ログインしているユーザーは設定メニューを表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	操作・設定編
	●サブモニターを使用していませんか？ サブモニターに設定メニューは表示できません。	28
モニターに表示されるカメラの画像、文字がぶれて見える	●映している被写体や接続しているHDMIモニターによっては、画像、文字がぶれて見えることがありますが、機器仕様によるもので故障ではありません。	—
アラーム動作しない	●後面にあるアラーム／コントロール端子に正しく信号が入力されていますか？	32
	●アラーム端子は正しく設定されていますか？	操作・設定編
	●動作モードが「Off」あるいは「録画のみ」に設定されていませんか？ 設定を確認してください。	操作・設定編
メインモニターの画面上に「通信エラー：cc」が表示される	●カメラは正しく接続されていますか？ カメラの接続を確認してください。	27
	●接続に問題がない場合は、ケーブルの断線またはカメラの故障が考えられますので、販売店にご相談ください。	—
メインモニターの画面上に「温度異常」が表示される	●ファンが故障していないか確認してください。	操作・設定編
	●本機の通風口、放熱ファンをふさいでいないか、また、通風口にほこりがたまっていないか確認してください。	19
	●使用温度範囲は+5℃～+45℃です。本機はHDDの内部温度情報を元に「温度異常」を表示します。「温度異常」が表示される場合は、HDD保護のために設置環境を見直し、周囲温度を+25℃程度とするようお勧めします。「温度異常」が頻繁に表示される場合は、販売店にご相談ください。	16

現象	原因・対策	参照ページ
時刻がずれる	●本機の時計精度は、月差±30秒です。 正しい記録を残すためにも、定期的に時刻設定を行うか、後面端子の自動時刻合わせ機能またはNTP機能を使用して現在時刻がずれないようにシステム構成にしてください。	—
	●内蔵バックアップ電池は充電されていますか？ 48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。	16
	●内蔵バックアップ電池が消耗していませんか？ 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（寿命は使用条件によって短くなる場合があります）。	16
HDDランプが赤色に点灯／点滅している	●HDDが故障しています。お買い上げの販売店に連絡してください。	20
SDカードにコピーできない SDカードから検索・再生できない	●SDカードは推奨品を使用していますか？ ●SDカードによっては使用できない場合があります。推奨品を使用してください。 ●SDカードはフォーマットされていますか？ ●SDカードに正しくコピーできていますか？	49 操作・設定編
DVDにコピーできない	●DVDは対応ディスクを使用していますか？ ●コピー先を正しく選択していますか？	49 操作・設定編
DVDが取り出せない	●データをコピーした後、DVDをファイナライズしましたか？ ファイナライズを行わなければ、DVDドライブの取り出しボタンを押してもトレイは出てきません。	操作・設定編

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源コードの被ふくが傷んでいる 使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い 使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、温かくなったり、ぬるくなったりする	●電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	—

仕様

● 基本仕様

電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz		
消費電力	WJ-NV250/05	39 W (72 VA)	
	WJ-NV250/2	42 W (77 VA)	
	WJ-NV250/4	43 W (79 VA)	
	WJ-NV250V1	39 W (72 VA)	
	WJ-NV250V2	40 W (74 VA)	
	WJ-NV300/4	47 W (87 VA)	
	WJ-NV300/6	48 W (89 VA)	
	WJ-NV300/8	50 W (93 VA)	
	WJ-NV300R	40 W (74 VA)	
使用温度範囲	本体	: +5 °C~+45 °C	
	マウス (付属品)	: +5 °C~+40 °C	
使用湿度範囲	WJ-NV250/05	5% ~ 90% (結露なきこと)	
	WJ-NV250/2	5% ~ 90% (結露なきこと)	
	WJ-NV250/4	5% ~ 90% (結露なきこと)	
	WJ-NV250V1	10% ~ 80% (結露なきこと)	
	WJ-NV250V2	10% ~ 80% (結露なきこと)	
	WJ-NV300/4	5% ~ 90% (結露なきこと)	
	WJ-NV300/6	5% ~ 90% (結露なきこと)	
	WJ-NV300/8	5% ~ 90% (結露なきこと)	
	WJ-NV300R	5% ~ 90% (結露なきこと)	
動作時許容高度	2000 m以下		
寸法 (ゴム足、突起部含まず)	幅	420 mm	高さ 88 mm 奥行き 300 mm
質量	WJ-NV250/05	約5.2 kg	
	WJ-NV250/2	約6.3 kg	
	WJ-NV250/4	約6.5 kg	
	WJ-NV250V1	約5.6 kg	
	WJ-NV250V2	約5.7 kg	
	WJ-NV300/4	約6.5 kg	
	WJ-NV300/6	約6.6 kg	
	WJ-NV300/8	約6.7 kg	
	WJ-NV300R	約4.8 kg	
仕上げ	前面パネル	ソリッドメタリック塗装	
	上カバー	ソリッドメタリック塗装	
	後面パネル	亜鉛メッキ処理	

● HDD / DVD (DVDはDVDドライブ搭載モデルのみ)

HDD / DVD	WJ-NV250/05	HDD (500GB) × 1
	WJ-NV250/2	HDD (1TB) × 2
	WJ-NV250/4	HDD (2TB) × 2
	WJ-NV250V1	HDD (1TB) × 1、DVDドライブ×1
	WJ-NV250V2	HDD (2TB) × 1、DVDドライブ×1
	WJ-NV300/4	HDD (2TB) × 2
	WJ-NV300/6	HDD (3TB) × 2
	WJ-NV300/8	HDD (4TB) × 2
	WJ-NV300R	HDDなし

DVD対応ディスク	DVD-R、+R (未対応ディスク：DVD-R DL、+R DL、DVD-R for Authoring、 8 cm ディスク)
-----------	--

●入出力

映像	映像出力端子	1 V [p-p] / 75 Ω、1系統 (BNC)
	モニター (HDMI) 端子	HDMI、2系統 (19ピン typeA端子) 1920×1080 p/60 Hz 1920×1080 i/60 Hz 1920×1080 p/50 Hz 1920×1080 i/50 Hz 720×480 p/60 Hz 720×576 p/50 Hz
音声	音声出力端子	-10 dBv 600 Ω、不平衡、1系統 (RCAピン)
その他	マウス接続ポート	1系統
	コピーポート	1系統
	増設端子 (WJ-NV300シリーズのみ)	高速シリアルインターフェース (理論値1.5 Gbps)、2系統
	アラーム/ コントロール端子	1～9chアラーム入力*1、ネットワーク異常出力*2、アラーム復帰入力*1、顔照合出力*2、HDD異常出力*2、カメラ異常出力*2、機器異常出力*2、録画異常出力*2、時刻合わせ入力*1、アラーム出力*2、+5 V出力*3、(D-sub25ピン)
	ネットワークポート (カメラ/PC)	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T (RJ-45)、1系統
	ネットワークポート (PC) (WJ-NV300シリーズのみ)	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T (RJ-45)、1系統
	対応プロトコル	HTTP、RTP、TCP/IP、UDP/IP、FTP (サーバー)、SMTP、NTP (サーバー、クライアント)、DNS、DDNS、SNMP、POP3
	SDHC / SD カードスロット	SDHC / SDメモリーカード対応 (miniSDカード、microSDカードには未対応)

※1 メーク接点入力 50 kΩ、5 Vプルアップ

※2 オープンコレクタ出力 DC24 V-100 mA以内

※3 最大200 mA

●別売品

カメラ拡張キット	WJ-NVE20JW (WJ-NV250シリーズ用) WJ-NVE21JW (WJ-NV250シリーズ用) WJ-NVE30JW (WJ-NV300シリーズ用)
ビジネスインテリジェンス拡張キット	WJ-NVF20JW (WJ-NV250シリーズ用) WJ-NVF30JW (WJ-NV300シリーズ用)
推奨SDHC / SDメモリーカード	パナソニック株式会社製 SDHCメモリーカード：4 GB、8 GB、16 GB、32 GB SDメモリーカード：256 MB、512 MB、1 GB、2 GB

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(46～47ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	ネットワークディスクレコーダー
●品番	WJ-NV250/05、WJ-NV250/2、 WJ-NV250/4、WJ-NV250V1、 WJ-NV250V2、WJ-NV300/4、 WJ-NV300/6、WJ-NV300/8、 WJ-NV300R
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像や音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。



直ちに使用を中止してください


故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号